

# 勞働組合法案特別委員會會議事速記錄第二號

(三三)

## 付託議案

○勞働組合法案

昭和二十年十二月十六日(日曜日)午  
前十一時八分開會

○委員長(河原田稼吉君) 是ヨリ委員  
會ヲ開會致シマス

○伯爵橋本實斐君 私ハ二三條文ノ字  
句ニ付テ御伺ヒ致シタト思ヒマス、  
十九條デゴザイマスガ、勞働組合ニ付  
キマシテ、勞働協約ハ書面ヲ作成スル  
コトニ依ツテ效力ヲ生ズルヤウニナツ  
テ居リマスガ、非常ニ細カイ御話ニナ  
リマスガ、書面ハ一通作ツテ、之ヲ何  
處カニ供託スルノデゴザイマスガ、勞  
資雙方ニ兩者間ニ同一ノ書面ヲ作成シ  
テ御互ヒニ持合フト云フヤウナコトニ  
ナルノデアリマスガ、是ハ實際ノ取扱  
ハ……

○國務大臣(青田均君) 勞働協約デス  
カラ、向フデハ「サイン」ト云フ字ヲ使  
フノヲ日本ノ普通ノ法文ノ書方デハ、  
書面作成ト云フコトニナツテ居リマ  
ス、場合ニ依ツテハ二通作ツテモ、三  
通作ツテモ必要ニ應ジテ宜シト思ヒ  
マスガ、一通ダカライケナイト云フ制  
限ハ別ニナト思ヒマス

○伯爵橋本實斐君 丁度道言狀ノ作成  
ノヤウナモノデスネ

○國務大臣(青田均君) 大體同ジコト  
ニナルト思ヒマス

○伯爵橋本實斐君 二十一條デゴザイ  
マスガ、「勞働協約締結セラレタルト  
キハ當事者互ニ誠意ヲ以テ之ヲ遵守シ  
勞働能率ノ増進ト產業平和ノ維持トニ  
協力スベキモノトス」是ハ誠ニ當然

ノコトヲ規定シタ規定デアリマシテ、  
ナクテモ宜イヤウナ感じガ致スノデア  
リマシテ、勞資雙方勞働協約ヲ誠實ニ  
書面ヲ以テ作成スレバ、協約當事者ハ  
御互ヒニ誠實ニ之ヲ守ルコトハ當リ前  
ノコトデアルト云フヤウナ感じガ致シ  
マスガ、何カ之ヲ本條ヲ規定シテ置イ  
タコトニ矢張り實益ガアリ、且是ガナ  
クテハナラナイヤウナ規定デアルノデ  
アリマセウカ、チヨットナクテモ宜イ  
ヤウナ感じガ致シマスガ……

○國務大臣(青田均君) 法律ノ中ニモ  
例ハ六六法ト云ツタヤウナ基本的ノ法  
律ト、更ニ又勞働組合法ノ如ク其ノ時々  
ノ社會ノ情勢、政治ノ傾向等ヲ多  
分ニ織込シテ出來ル法律トガアルト思  
フノデゴザイマス、從ツテ最近ノ社會  
情勢等ニ鑑ミテ無用ト思ハレル規定デ  
アツテモ、一部ノ不安ヲ除去シ、産業  
平和ノ爲ニ特ニ挿入スルコトガ望マシ  
イ規定ハ之ヲハツキリ法制ノ中ニ書イ  
テ置ク、斯ウ云ノ行キ方モアルト思ヒ  
マス、今橋本伯爵ノ御指摘ニナリマシ  
タ二十一條ノ如キハ恰モ第一條第二項  
ノ規定、或ハ第十二條ノ規定ト同ジヤ  
ウニ、主トシテ使用者及ビ勞働者ニ對  
スル心構ヲ示シ、同時ニ或部分ニ對シ  
テハ此ノ規定ニ依ツテ將來ニ安心ヲ與  
ヘル效果ヲ狙ツテ茲ニ掲ゲタモノデア  
リマス、嚴格ニ考ヘバ第二十一條ノ  
規定ノ如キハ書カナクとも勞働組合法  
トシテ成立シ得ル規定タト考ヘテ居リ  
マス

○伯爵橋本實斐君 分リマシタ、ソレ  
カラ二十六條ノ勞働委員會ノ問題デゴ  
ザイマスガ、此ノ委員會ノコトガ、私  
ハ勞働組合ノコトヲ能ク承知致シマセ  
マスガ、例ハ工場ノ勞働組合モゴザイ  
マセウシ、ソレカラ此ノ規定ニ依リマ  
スト、給料生活者ノ誰デモ勞働組合ヲ  
リ得ルコトニナツテ居リマスカラ、例  
ハ家庭ノ使用者、斯ウ云フモノモ勞  
働組合ガ作レルト存ジマス、サウ云フ  
業種ヲ異ニシタ勞働組合ガ同一ノ勞働  
委員會ニ附スルノデアリマセウカ、ソ  
レトモ業種別ニ茲ニ書イテアリマスル  
ヤウニ「一定ノ地區又ハ事項ニ付特別  
勞働委員會ヲ設クルコトヲ得」ト云フ  
コトニ、此ノ法ニ準據致シマシテ、家  
庭ノ使用者ハ使用者ノ別箇ノ勞働組合  
ヲ組織シ、又勞働委員會ガ出來ル、斯  
ウ云フ風ニ了解シテ宜イノデゴザイマ  
セウカ

○國務大臣(青田均君) 御答致シマ  
ス、家庭使用者ハ一般ノ勞働組合ニ加  
入スルノガ多イデラウト思ヒマス、特  
ニ家庭使用者ノ勞働組合ノ作ル如  
キ事態ハ頗ル稀デラウト考ヘテ居ルノ  
デアリマス

○伯爵橋本實斐君 サウシマス、  
例ハ工場内部ニ勞働組合ガゴザイマ  
ス、ソレカラ只今ノ仰セノヤウニ一般  
ノ勞働者ヲ以テ組織スル勞働組合ハ、  
ドウ云フヤウナ……是ハ工場等ニ特別  
ノ勞働組合ヲ設置シ得ル、ソレカラ抽  
象的ニ色々各種ノ業種別ノ勞働者ヲ  
シテ一箇ノ勞働組合ヲ作ルト、自然家  
庭ノ使用者モ其ノ勞働組合ニ入ル、斯  
ウ云フ關係ニナルノデセウカ、其ノ點  
尙私ノ了解致シマセウカ、御説明ヲ願  
ヒタト思ヒマス

○政府委員(高橋庸彌君) 本法ノ勞働  
組合ハ自然發生ノ勞働者ノ自由意思  
ニ依ツテ決定セサセタイ、斯ウ云フ風ニ  
考ヘテ居リマスノデ、御話ノヤウナ一  
定地域ニアリマス所ノ家庭ノ勞働者、  
例ハ女中トカ、下男ト云フヤウナ者  
ガ、一定ノ地域ヲ限ツテソコニ勞働組  
合ヲ作ルコトモ支障ハナト思ヒマ  
ス、サウシテ其ノ場合ニ色々ノ勞働協  
約ニ付テ異議ガ起ツタ場合ニ勞働委員  
會ニ掛ケタイト云フ場合ニ、一般ノ勞  
働委員會ニ掛ケ特別ノ勞働委員會ト云  
フモノハ必要ハナイノデヤナイカトス  
ウ考ヘテ居リマス

○伯爵橋本實斐君 サウ致シマス、今  
ノ御話デ茲ニ指定シテアリマス「一定  
ノ地區又ハ事項ニ付特別勞働委員會ヲ  
設クルコトヲ得」ト云フノハ何カ特別  
ノ場合ニ備ヘル規定ナノデスカ

○政府委員(高橋庸彌君) 今一定ノ地  
區ト云フコトニ付テ一般ノ豫想シテ  
居リマスノハ、勸勞署ノ單位、此處ニ  
アリマス地方勞働委員會ハ大體府縣ヲ  
單位ト致シマス、地區トハ其ノ下ノ勤  
勞署ノ單位ヲ一定ノ地區ト考ヘテ居リ  
マス、ソレ以外ニ必要ガアレバ更ニ排  
ヘタイト思ヒマスガ、一應サウ考ヘテ  
居リマス、ソレカラ特別ノ事項ト申シ  
マスノハ、例ハ今ハツキリ考ヘテ居リ  
マスノハ船員ノ關係デアリマス、船員  
ノ關係ハ船員法ノ規定モアリマスシ、  
非常ニ複雑ニナツテ、一般ノ勞働者ト  
非常ニ遠ク點ガアリマスノデ、之ニ關シ  
テハ地方、中央共ニ別ニ委員會ヲ作リ  
タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○伯爵橋本實斐君 了承致シマシタ、  
ソレカラ勞働委員會ハ常設的ノモノト  
考ヘマスガ、サウ云フヤウニ了解シテ  
宜シウゴザイマスガ

○政府委員(高橋庸彌君) 原則トシテ  
左様デゴザイマス

○伯爵橋本實斐君 ソレカラ三十一條  
デゴザイマスガ、是ハチヨット字句ガ  
分リマセウデスガ、「第三章ノ規定ハ  
勞働委員會ト關シタル勞働條件其他  
ノ勞働者ノ待遇ニ關スル規定ニ關スル  
協定ニシテ勞働組合共ノ當事者タラザ  
ルモノ」其ノ當事者タラザルモノト云  
フノハドウ云フノデスカ

○政府委員(高橋庸彌君) 茲ニ例ヲ引  
イテ御説明申上ゲマス、此處ニ一ツ製  
絲工場ガアリマシテ、其ノ間ニ何等ノ  
勞働組合ノ法成ガナイ、勞働者ノ間ニ  
賃銀ニ關シテ紛議ガ起リマシタ、サウ  
シテ其ノ間ニ勞働委員會ガ干與シマシ  
テ、勞資兩方ノ間ヲ調停シテ、一定ノ  
勞働賃銀ヲ決定シタイト云フヤウナコ  
トニ付キマシテ、勞働賃銀ハ第三章ノ  
規定シテアリマス勞働協約ノ效力ノ間  
題、其ノ他勞働協約ノ諸規定ヲ準用シ  
テ右協定ヲ保護致シタイ、斯様ニ考ヘ  
タ次第デアリマス

ウ云フ風ニ了解シテ宜シウゴザイマス

○委員長(河原田稼吉君) 労働組合ハ是カラ澤山出来ルダラウト思フノデ

○委員長(河原田稼吉君) 使用者團體ニモサウ云フ氣運ガアリマス、使用

ノデス、第二十六條ノ第五項ニ「労働

ト、幹事ノ上司ノ命ヲ受ケテ庶務ヲ處

カ  
○政府委員(高橋庸彌君) 名稱ニ労働

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○伯爵橋本實聖君 了解致シマス

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ常設的

○政府委員(高橋庸彌君) 一應事務當

○政府委員(高橋庸彌君) 特別労働委員

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○委員長(河原田稼吉君) 橋本伯爵ノ

○委員長(河原田稼吉君) 是ハ別ニ一定

○政府委員(高橋庸彌君) 使用者ノ方

○政府委員(高橋庸彌君) 事務當局ト

○政府委員(高橋庸彌君) 今ノ所ソレ

○御考へ置キテ願フタ方宜イと思ヒマス、同ジ労働委員会ノ二十七條ニ勞働委員會ノ事務トシテ労働爭議ノ調停ト力仲裁ト云フコトガアツテ、自然爭議ノ調停、仲裁ハ労働委員會デアル、斯ウ云フ趣旨ト思フノデスガ、現在昭和十五年アリマシタカニ出マ労働爭議調停法ト云フモノガアリマシテ、此ノ規定ニ依リマス、調停委員會ヲ作シテ労働爭議ノ調停ヲアル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソコデ此ノ労働組合法案ガ施行サレタ場合ニ、此ノ労働委員會ト爭議調停法トノ關係ハドウ云フ風ニナリマスカ、御考デアリマスカ

○政府委員(高橋廣彌君) 大臣カラ説明ノアリマシタヤウニ、勿論労働爭議調停法ハ近ク改正致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘ居リマス、其ノ場合ニ現在労働爭議調停法決メテ居リマス所ノ委員會、アレハ事件毎ニ出來ル臨時ノモノデゴザイマス、サウシテ今度ノ改正ノ場合ニ於キマシテハ此ノ労働組合法案ニアリマス労働委員會ガ常設トシテ存在シテ居ツテ、サウシテ労働爭議ノ只今御話ノヤウナコトモ致ス次第デアリマス、從ヒマシテ現在アリマス臨時ノモノハ不必要ニナリマスノデ廢止致シタイト思ヒマス、サウシテ新シイ労働爭議調停法ニ特別ノ労働委員會ヲ規定セズニ、本法ニ決ツテ居ル所ノ労働委員會ガ労働爭議ノ預防、調停、仲裁ヲスルヤウニ致シタイト思フテ居リマス

○大橋八郎君 實ハ労働組合ノ運用ニ付キマシテハ、將來爭議ノ調停、仲裁ト云フコトガ非常ニ大キナ役割ヲ擔フモノト考ヘルノデアリマス、從ツテ今同相當進シテ労働組合ガ提出サレタ

曉ハ、當然從來ノ爭議調停法ノ改正ニ付テ同時ニ御提案ニナルムデハナイカト云フコトヲ實ハ豫想シテ居ツタノデアリマスガ、其ノ方ハ御提案ニナラナカッタノデアリマス、特ニ之ヲ御提案ニナラナカッタ理由ガ何カアルノデゴザイマセウカ

○國務大臣(青田均君) 御答致シマス、出來ルナラバ速急ニ之ヲ提案致シタイト考ヘタノデアリマスガ、正直ニ申シマス、ソレ迄ノ準備ガ整ハナカッタト云フコトノ一言ニ盡キルノデアリマス、此ノ組合法案ノ如キモ會期半バ過ギテヤツト間ニ合ツタ、ソレニハ先ヅ第一著ニ聯合軍司令部ト相當打合セテ重ネタ上デナケレバ政府ノ最後ノ決定ヲシナイ方針ニナツテ居リマス、サウシテ爭議調停法ヲ改正スルコトニ付キマシテハ、今日組織サレテ居ル労働法會議會ニ十分ノ審議ヲ盡サシメタ上デ其ノ大綱ヲ決メル方針ヲ執ツテ居リマス、又適當リノ爭議調停ノ方法トシテ十一月ニ出シマシタ、是ハ法律デハアリマセウガ、臨機現ニ發生シツツアル爭議ノ預防及仲裁調停ノ爲ニ全國各府縣ニ特別ノ調停委員會ヲ作ラシテ、新シキ爭議調停法ガ制定セラレタ迄ニ、其ノ方法デ調停ヲ行ハシメルヤウナ方法ヲ執ツテ居リマス、サウ云フ譯デ爭議調停法ノ提案モ遅レマシテ、政府トシテハ誠ニ遺憾ニ思フテ居リマセウガ、事情ハ只今申上ゲタヤウナ次第デアリマス

○大橋八郎君 其ノ爭議調停法ノ改訂サレタ迄ノ間ニ、其ノ爭議調停法ト労働組合法案トニ併立スル譯デアリマスガ、調停ニ關シテ二重ノ機關ガアルヤウナ恰好ニ思ハレルノデスガ、或ハ政府ノ方針トシテハ大體労働組合ノ労働委員會ヲ働カシテ、一方ノ爭議調停法ハ、アレハ申請ニ依ツテヤルト云フコトニナツテ居ルカラ、事實ニ於テハアレハ適用シナイノダ、動かシテ行カナイノダト云フ肚デスカ、其ノ點ヲ……

○政府委員(高橋廣彌君) 今大臣カラ御説明ガアリマシタヤウニ、又御質問ニアリマシタヤウニ、今ノ労働爭議調停法ハ原則ガ事件當事者ノ申請ニ基キテ之ヲ爲シ、唯公益ニ關スル事業ニ付テノ當事者ノ一方又ハ官廳ノ職權ニ依リ調停ヲ爲シ得ルコトニナツテ居リマス、從ヒマシテ運用サレル場合ガ非常ニ少ウゴザイマシテ、實際ノ事情ニ合ハスト云フノガアリマス、從ヒマシテ今通牒ニ基キ委員會ニ依ツテ労働爭議ノ解決ヲシテ居ルト云フ現狀デゴザイマス、サウシテ本法ガ施行ニナリマス、今通牒ニ依ツテ動イテ居ル所ノ委員會ハ本法ニ依ル委員會ニ發展ノ解消ヲセメル、斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマス、サウシテ労働爭議調停法ニ基キ事件々々ニ依ツテ出來ル所ノ臨時ノ委員會ハ實際上ハ助力シメナイデ、本法ニ依ル労働委員會ガ動イテ行クト云フヤウニ致サセテ居リマス

○大橋八郎君 近イ機會ニ爭議調停法ノ改正ヲ行ハレト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、何カ其ノ大體ノ御腹案デモアレバ、此ノ際承ルコトガ出來マセウカ

○國務大臣(青田均君) 只今腹案トシテ頭ニ置イテ居リマスコトハ、今度ノ改正法ニ依ツテ、第一ニハ爭議ノ事前調停ヲ制度化スルコトニシタイト云フコト、第二ニハ強制調停ノ範圍ヲ擴大シテ行キタイ、第三ニハ必要ニ應ジテ爭議行爲ノ禁止又ハ中止命令ヲ出シ得ル

ヤウニスル、第四ニハ労働委員會ヲ常設ノ爭議調停機關トシテ活用スル點、第五ニハ労働委員會ノ爭議調停ノ決定ニ拘束力ヲ持タセル、斯ウ云フ點ヲ頭ニ置イテ新シク改正案ヲ提出シタイコデアリマス

○大橋八郎君 能ク分リマシタ、序デ外ノコトヲチヨット伺ヒタイノデスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(河原田稼吉君) 宜シウゴザイマス

○大橋八郎君 第四條ノ規定デアリマスガ、官公吏ノ問題デアリマス、是ハ警察官吏、消防職員、監獄ニ勤務スル者ニ付キマシテハ、労働組合ノ加入ヲ禁止シテ居ル譯デアリマスガ、其ノ他ノ官公吏ニ付テハ之ヲ禁止シナイデ、[命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得]ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ大體ドウ云フ定ヲナサレル御腹案デアリマセウカ、若シ何フコトガ出來マシレバ、伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(青田均君) 第四條ノ規定スル命令ノ豫定事項ハ大體三點ニ分ケマシテ、第一ハ、之ニ該當スル者ハ、調停又ハ仲裁ニ掛ケテ、ソレガ成功シナカッタ場合ノ外爭議行爲ヲ爲スベカラズト云フノガ、第一點デアリマス、第二點ハ、爭議ガ起ラムトシ、又ハ爭議ガ起ツタ時ニ、行政官廳ハ必要ノ場合ニ爭議ノ中止命令、其ノ他必要ナル命令ヲ出スコトガ出來ルト云フコト、第三點ハ政治運動ノ界限デアリマス、是等ノ者ガ政治運動ヲ爲ス場合ニハ、労働委員會ノ決議ニ依ツテ、行政官廳カラ禁止又ハ制限ヲ行フコトガ出來ル、斯ウ云フ點ヲ規定致シタイト思フテ居リマス

別問題トシテ、第一、第二ノ點ニ付テハ、官公吏ノミナラズ、例ヘバ公共事業即チ電車ノヤウナ事業デアリマスガ、斯ウ云フモノニ付テモ同様ノ必要ガアルノデアリマセウカ、例ヘバ國有鐵道ニ付テハ今ノ御話ノ適用ガアルト思ヒマスガ、郊外電車ナリ或ハ地下鐵ト云フヤウナモノニ付テハサウ云フ適用ガナイト云フコトニナルヤウデアリマスガ、其ノ邊ノ釣合ト申シマスカ、御考ハドウデアリマセウカ

○國務大臣(青田均君) 御尤モナ御質問デアリマスガ、其ノ點ハ現行ノ爭議調停法ニ規定シテ居ル公益事業ノ從事員ノ場合ヲ更ニ廣ク擴大シテ、爭議調停法ノ中ニ規定シテ置キタイト思フテ居リマス

○大橋八郎君 序デ伺ヒタイノハ、労働組合ニ加入シ得ル人ノ範圍デアリマス、詰リ第三條ノ解釋ニナルカモ知レマセウガ、ドウ程度迄ヲ加入シ得ル人ノ範圍ニ入レルノカ、例ヘバ官公吏デアリマスレバ、大臣ハ無論除外サレルト思ヒマスガ、ソレ以外ニドウ程度迄……或ハ局長迄ハ入ラナイトカ、或ハ課長級迄ハ入ラナイトカ、何カ其ノ邊ノ御考ハアルノデアリマセウカ、是ハ官公吏ノミナラズ、一般ノ會社ナリ其ノ他ノ法人ニ付テモ同様ナコトト思ヒマス、會社ノ取締役等ハ無論入ラナイト思ヒマスガ、其ノ以下ノ局部課長ト云フヤウナ者ガ入ルノカドウカ、其ノ邊ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(青田均君) 官吏ノ場合ハ、例ニ御出シナリマシタ局長ノ階級ハ無論入ラナイト解釋シテ居リマス、課長ノ場合ハ其ノ仕事ノ性質ニ依ツテ一概ニハ定メナイト思ヒマスガ、大體政府ノ意向及利益ヲ代表シ

テ下級官吏ニ臨ム如キ立場ニ在ル者ハ入ラナイ、一般民間ノ事業ニ於キマシテハ、第二條各號ニ書イテアルヤウナ地位、即チ使用者又ハ其ノ利益ヲ代表スルト認メラレル者ハ入ラナイ、從ツテ重役トカ、重役以外デモ支配人若クハ工場長、サウ云フ立場ニ在ル者ハ労働組合ニ加入シナイ、此ノ程度ニ漢トシテ居ルノデアリマシテ、マダ具體的ニ一々ノ場合ヲ突キ詰メテ考ヘテハ居リマセヌ。

○大橋八郎君 第十二條デアリマスガ、「使用者ハ同盟罷業其ノ他ノ爭議行為ニシテ正當ナルモノニ因リ損害ヲ受ケタルノ故ヲ以テ労働組合又ハ其ノ組合員ニ對シ賠償ヲ請求スルコトヲ得ズ」、斯ウアリマスガ、此ノ書キ方カラ見マス、如何ナル場合ニモ賠償ヲ請求スルコトが出来ナイト云フノデハナイン、正當ナルモノニ因リ場合ニハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ナイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、或場合ニハ損害賠償ヲ請求シ得ル場合モアルト云フヤウニ解釋シテ宜イノデアリマス。

○政府委員(高橋庸彌君) 御説ノ通りデアリマス、例ヘバ暴行、脅迫或ハ傷害ト云フヤウナ事實ヲ含ム違法ノモノニ付テハ當然賠償ヲ責メ負ハナケレバナラヌ譯デアリマス。

○大橋八郎君 サウ致シマス、第二十五條ノ労働協約ノ中ニ「紛争アル場合調停又ハ仲裁ニ付スルコトノ定アルトキハ調停又ハ仲裁成ラザル場合ノ外同盟罷業、作業所閉鎖其ノ他ノ爭議行為ヲ爲スコトヲ得ズ」此ノ規定ニ違反シテ若シ損害ヲ生ジタ場合ニ、正當ナルモノニ因リ損害ヲ生ジタト言ヘルノデアリマセウカ、若クハサウデナク、

正當ナルモノニ因リ損害ヲ受ケタルト其ノ場合ハ言ヘナイト云フ御解釋デアリマセウカ。

○政府委員(高橋庸彌君) 御説ノ場合ハ正當ナルモノノ範圍ニ入ルト思ヒマス。

○大橋八郎君 諸リ協約ニ違反シタ爭議行為ヲヤツタコトニ依ツテ損害ヲ生ジタト云フ場合デアリマスガ、ソレモ矢張り正當ナルモノニ因リ損害ヲ生ジタ、斯ウ云フコトニナルノデスカ。

○政府委員(高橋庸彌君) 爭議行為其ノモノガ正當ナルモノデアリマス、正當ナルモノデアアル、斯ウ云フ風ニ爾餘ノコトハ別トシテ、爭議行為其ノモノヲ此處ニ規定シテ居リマス、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス。

○大橋八郎君 此ノ二十五條ノ協約ニ調停又ハ仲裁ニ付スル規定アル場合ニモ拘ラズ、調停又ハ仲裁成ラザル場合ニハ、爭議ヲヤツタト云フコトニ對シテハ、制裁規定ハナイ譯デスカ、此ノ二十五條ノ違反ニ付テハ、罰則ノ方ニモナイヤウデアリマスガ、……

○政府委員(高橋庸彌君) 御説ノ通り此ノ違反ノ場合ヲ罰則ニ規定シテ居リマセヌ、併シナガラ本會議ニ於テ大臣カラ御説明ノアリマシタヤウニ、當事者ガ協約ニ違反シタ場合ニ、制裁條項ノアル場合ニハ、其ノ制裁條項ニ從ハナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、尙附加ヘテ申シマスガ、此ノ二十五條ニハ、作業所ノ閉鎖ト云フノガゴザイマス、是ハ使用主ノ方ガヤルモノデアリマスガ、此ノ使用主ノ方ノ側ガ、約束ヲ破ツタ場合ニ於テモ同様ニナルト云フコトニナツテ居リマス、勞資兩方共ニ制裁ガ爲サレル譯デアリマス。

○大橋八郎君 サウ致シマス、此ノ二十五條ノ規定ト云フモノハ、之ニ反シテモ罰則モナシ、又之ニ反シテ生ジタ損害モ、賠償ノ責任モナイ、斯ウ云フ規定ニナル譯デスカ、サウ致シマス、是ハ道德的ノ制裁ト言ヒマス、責任ヲ負フダケノ規定ト、斯ウ諒解シテ宜イ譯デスカ。

○政府委員(高橋庸彌君) 御説ノ通りデゴザイマス、但シ前段申シマシタヤウニ、其ノ労働協約ノ中ニ、制裁條項ノアリマス場合ニハ、前段申上ゲマシタヤウニ其ノ制裁ガアルト云フ譯デゴザイマス。

○子爵齋藤齊君 第四條ニ關係致シマシテ、昨日ノ御説明ニ依リマス、公共團體ニ使用セラルル者ニ付テハ、同盟罷業ヲ禁止スルコト云フ話デアリマシタケレドモ、今日ノ御説明ニ依リマス、必ズモ禁止シナイノドト云フコトニナリハシナイカト思ヒマスガ、其ノ點如何デセウカ。

○國務大臣(青田均君) 昨日御答ヘ致シマシタノモ、今日御答ヘシタノモ、實ハ同ジ虎ノ巻ヲ見申上ゲマシタノデ、私自身ハ同ジコトヲ御答ヘシタヤウナ氣持デ居リマス、何カサウナ風ニ或ハ言ヒ違ヘタカモ知レマセヌ、爭議行為中止、其ノ他必要ナ命令ヲ出スコトが出来ルト云フ點ハハツキリ致シテ居リマスガ、若シ昨日間違ツタ印象ヲ與ヘタト致シマスレバ、ソレハ何カ言ヒ違ヒガアツタコトト思ヒマス。

○子爵齋藤齊君 サウ致シマス、官業ノ労働者ニ於キマシテハ、武器トモ中スベキ同盟罷業ガ出来ナイコトニ相成ルノデアリマスガ、之ニ對シテ何カ其ノ待遇改善ニ對スル要求ヲ政府ニ於テテ聽キ得ル、何カ特段ノ考慮ガ廻ラサレテ居ルノデゴザイマセウカ。

○國務大臣(青田均君) 經濟上ノ待遇改善等ニ關スル團體ノ要求ヲ出スコトハ出来ルノデアリマス、サウシテ、或場合ニハ調停、若シハ仲裁ニ付スルコトモ出来ルノデアリマス、サウシテ其ノ仲裁ガ成功シナケレバ爭議行為ヲスルコトモ出来ルノデアリマス、唯其ノ組合ノ性質ニ依リマシテ、治安維持ニ關係ガアルトカ、或ハ公共的ノ性質ガ特ニ顯著デアルトカ云フヤウナ役人ノ組合ニハ、爭議行為ヲ中止シタリ、或ハ其ノ他必要ナ命令ヲ出スコトが出来ル、併シナガラ煙草專賣局デ使ツテ居ル労働者ガ爭議行為ヲ行ツタト云フヤウナ場合ハ、他ノ事業會社ノ労働者トノ立場ガソレ程ハツキリト相違ガナイトモ考ヘラレマス、サウ云フモノノ爭議行為ヲモ命令ヲ以テ中止スルカドウカト云フコトハ、餘程考ヘル餘地ガアル問題ダト考ヘマスガ、要スルニ其ノ職務ニ依ツテ制限ノ程度ガ變ツテ来ルト解釋致シテ居リマス。

○子爵齋藤齊君 制限ヲサレテ居ル所ヲ何處カデ救ツテ居ル所ガアリマセウカト云フコトヲ伺ツテ居ルノデスカ。

○國務大臣(青田均君) 斯様ナ制限ハ矢張り官吏服務規律、其ノ他ノ身分ニ依ツテ制約ヲ受ケルノデアリマスカラ政府ガ官吏服務規律ニ於テ是ダケノ服從義務ヲドウシテモ負ハセル必要ガアルト認メタモノニ付テハ、法律又ハ命令ニ依ツテ救済ヲ認メルコトハ出来ナイデアラウト思ヒマス。

○子爵齋藤齊君 諸閣下カ、サウ云フ途ハ開ケテ居ル譯デスカ。

○國務大臣(青田均君) ソレモ官吏ノ身分タル立場ニ於テ爲シ得ル種々ノ請願ノ方法ハ無論アル譯デアリマス。

○國務大臣(青田均君) 昨日秋元子爵カラノ御要求デ配付致シマシタノデスカ、尙説明ヲ致シマスカラ……

○政府委員(高橋庸彌君) 本資料ハ、只今大臣カラ御話ノアリマシタヤウニ、秋元子爵カラノ御要求ニ基イテ、子爵カラノ御要求ハ外ニマダ大藏省ノ關係、其ノ他アリマスノデスカ、當日迄ニ間ニ合ヒマシタノハ、此ノ運輸省關係ト運輸院關係ダケ間ニ合ヒマシタノデ、御了承願ヒマス、サウ云フ事情デ出シタ次第デアリマス。

○子爵齋藤齊君 勅令ニ基キマス共濟組合ハマダ澤山アルト存ジマス、二十位アルノデヤナイカト思ヒマス、ソレデ運輸院關係ニ於キマシテ、主タル事業、是ハ事業デヤナイカモ知レマセヌガ、鐵道ノ方ト較ベマス、少シク落チテ居リヤシナイカト思ヒマス點ガゴザイマス、鐵道ノ方デハ、年金制度ガアルト云フコトハハツキリ書イテゴザイマスガ、運輸院ノ方ニモゴザイマス、兩方共健康保險ノ代及厚生年金ノ代行ミタイナコトヲヤツテ居ルノデアリマシテ、尤モ厚生年金ナカヨリモ、鐵道或ハ運輸院デ年金制度ヲ作りマシタノガ、ズット先ニナツテ居リマシタケレドモ、其ノ點何カ誤解ヲ生ジハシナイカト存ジマス、昨日モ御話ガアリマシタヤウニ、此ノ官業共濟組合ヲ労働組合ノ方ニ吸收スルノト云フヤウナコトガ考案サレテ居ルト云フ風ニ御話ガゴザイマシタケレドモ、官業共濟組合ノ中ニハ、斯ウ云ツタ福利施設ヲ主トシタモノガ主ナルモノデアリマ

シタ資料ニ付テ、是ガドウ云フ意味デ御配付ニ相成リマシタノカ、此ノ資料ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○國務大臣(青田均君) 昨日秋元子爵カラノ御要求デ配付致シマシタノデスカ、尙説明ヲ致シマスカラ……

○政府委員(高橋庸彌君) 本資料ハ、只今大臣カラ御話ノアリマシタヤウニ、秋元子爵カラノ御要求ニ基イテ、子爵カラノ御要求ハ外ニマダ大藏省ノ關係、其ノ他アリマスノデスカ、當日迄ニ間ニ合ヒマシタノハ、此ノ運輸省關係ト運輸院關係ダケ間ニ合ヒマシタノデ、御了承願ヒマス、サウ云フ事情デ出シタ次第デアリマス。

○子爵齋藤齊君 勅令ニ基キマス共濟組合ハマダ澤山アルト存ジマス、二十位アルノデヤナイカト思ヒマス、ソレデ運輸院關係ニ於キマシテ、主タル事業、是ハ事業デヤナイカモ知レマセヌガ、鐵道ノ方ト較ベマス、少シク落チテ居リヤシナイカト思ヒマス點ガゴザイマス、鐵道ノ方デハ、年金制度ガアルト云フコトハハツキリ書イテゴザイマスガ、運輸院ノ方ニモゴザイマス、兩方共健康保險ノ代及厚生年金ノ代行ミタイナコトヲヤツテ居ルノデアリマシテ、尤モ厚生年金ナカヨリモ、鐵道或ハ運輸院デ年金制度ヲ作りマシタノガ、ズット先ニナツテ居リマシタケレドモ、其ノ點何カ誤解ヲ生ジハシナイカト存ジマス、昨日モ御話ガアリマシタヤウニ、此ノ官業共濟組合ヲ労働組合ノ方ニ吸收スルノト云フヤウナコトガ考案サレテ居ルト云フ風ニ御話ガゴザイマシタケレドモ、官業共濟組合ノ中ニハ、斯ウ云ツタ福利施設ヲ主トシタモノガ主ナルモノデアリマ

シタ資料ニ付テ、是ガドウ云フ意味デ御配付ニ相成リマシタノカ、此ノ資料ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○國務大臣(青田均君) 昨日秋元子爵カラノ御要求デ配付致シマシタノデスカ、尙説明ヲ致シマスカラ……

○政府委員(高橋庸彌君) 本資料ハ、只今大臣カラ御話ノアリマシタヤウニ、秋元子爵カラノ御要求ニ基イテ、子爵カラノ御要求ハ外ニマダ大藏省ノ關係、其ノ他アリマスノデスカ、當日迄ニ間ニ合ヒマシタノハ、此ノ運輸省關係ト運輸院關係ダケ間ニ合ヒマシタノデ、御了承願ヒマス、サウ云フ事情デ出シタ次第デアリマス。

○子爵齋藤齊君 勅令ニ基キマス共濟組合ハマダ澤山アルト存ジマス、二十位アルノデヤナイカト思ヒマス、ソレデ運輸院關係ニ於キマシテ、主タル事業、是ハ事業デヤナイカモ知レマセヌガ、鐵道ノ方ト較ベマス、少シク落チテ居リヤシナイカト思ヒマス點ガゴザイマス、鐵道ノ方デハ、年金制度ガアルト云フコトハハツキリ書イテゴザイマスガ、運輸院ノ方ニモゴザイマス、兩方共健康保險ノ代及厚生年金ノ代行ミタイナコトヲヤツテ居ルノデアリマシテ、尤モ厚生年金ナカヨリモ、鐵道或ハ運輸院デ年金制度ヲ作りマシタノガ、ズット先ニナツテ居リマシタケレドモ、其ノ點何カ誤解ヲ生ジハシナイカト存ジマス、昨日モ御話ガアリマシタヤウニ、此ノ官業共濟組合ヲ労働組合ノ方ニ吸收スルノト云フヤウナコトガ考案サレテ居ルト云フ風ニ御話ガゴザイマシタケレドモ、官業共濟組合ノ中ニハ、斯ウ云ツタ福利施設ヲ主トシタモノガ主ナルモノデアリマ

シテ、中ニモ年金制度ニ付キマシテハ、餘程考ヘル必要ガアルノデハナイカト存ジマス、例ヘバ是ガ労働組合ノ方ニ吸収セラレマシタル場合ニ、何等カノ機會ニ於キマシテ労働組合ガ解散ヲ命ゼラレト云フヤウナコトニ立至リマシレバ、年金制度ト云フモノガ其處デ停止ニナリマシテ、最初カラ目的ト致シマシタル生活安定ト云フコトハソレデ頓挫ヲ來スノデアリマス、是ハ餘程御考ニナル必要ガアルノデハナイカト存ジマス、尙又斯ウ云フヤウナ勅令ニ基テ共済組合ニ對シマシテハ、政府カラ補助金ヲ出シテ居リマスノデ、此ノ持ツテ居リマス金ト云フモノハ相當巨額ニ上ツテ居リマス、之ヲ他ニ流用サレバヤウナコトガアツテハ、又是モ福利施設ノ、福利施設デヤアリマセヌ、生活安定ト云フ問題ニ付キマシテ非常ナ缺陷ガ生ズルコト存ジマス、尙又斯ウ云フヤウナ官廳ノ共済組合デゴザイマセヌデ、民間ニアリマス共済組合ニ於キマシテモ、年金制度ヲ持ツテ居ルモノガアルト存ジマス、例ヘバ電氣事業トカ、サウ云フモノニ年金制度ガ附イテ居ルトハ記憶シテ居リマス、東京市ノモノダトカ、或ハ神戸ニモソナモノガアリハシナカッタカト存ジテ居リマス、斯ウ云フモノニ付キマシテモ、是ガ労働組合ノ方ニ吸収サレマス、何等カノ場合ニ年金制度ガ頓挫ヲ來シテ、生活安定ト云フモノガ脅カサレト云フヤウナコトニナリマスノデ、其ノ労働組合ノ營業ミマス事業ニ付キマシテハ、何等カノ考慮ガ廻ラサレナケレバナラナイノデハナイカト存ゼラレマスノデ、其ノ點ハ如何ニ御考ニナツテオイデニナリマスカ、一應御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマ

○國務大臣(青田均君) 御尤モナ御注意デアリマス、現在行ハレテ居リマス鐵道運信等ノ共済事業其ノ他ノ構成加入者ト労働組合タルベキモノノ間ニ、多少ハミ出スモノガアルノデハナイカト思フノデス、共済組合ニ今日迄參加シ基金ヲ拂込シタ人、ソレガ其ノ儘労働組合員ニナリ得ルカドウカ明カニナリ得ナイ人モ入ツテ居ル點モアリマス、ソレカラ只今齋藤子爵ノ御指摘ノヤウナ點モアリマスカラ、現在鐵道及運信關係ノ首腦者ノ間ノ考デハ、是等ノ有體財產其ノ他ノモノハ一應從來通りノ共済組合トシテ殘シテ、労働組合ハ別箇ニ之ヲ組織シタ方ガ適當デアラウト考ヘテ居リマス

○子爵梅園篤彦君 昨日御伺ヒ致スコトヲ洩ラシタノデアリマスガ、其ノ點此ノ際ニ一點大層生大臣ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス、我國ノ產業界ハ今ヤ大財閥ノ解體ニ依リマシテ資本家ノ指導力ガ減退弱シタノデアリマスルカシテ、労働者ノ協力ナクシテ工場ノ勞務管理ガ完遂スルコトガ出來ナクナリマシタノミナラズ、其ノ經營上ニ於キマシテモ亦労働者ノ協力ガ必要トナツテ來タノデアリマス、更ニ賠償物資並ニ主要食糧品等ノ必需物資ノ輸入ニ對スル見返リ物資ノ生産ニ付キマシテハ、是非高効率生産ヲ必要トスルニ至ツタノデアリマス、斯ウ云ツタコトカラ考ヘテ見マシテモ、今後ノ労働組合ノ重要性ト云フモノハ倍加スルモノデアルト信ジテ居リマス、果シテ然ラバ寧ろ先ヲ見透シマシテ、最近ノ機會ニ於キマシテ労働者ヲ創設シ、以テ高効率生産ノ向上發展ノ萬全ヲ期スベキデハナイカト考ヘルノデアリマ

ス、就テハ労働省新設ニ付テノ厚生大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(青田均君) 労働省ヲ設置スベシト云フ意圖ハ労働運動ニ從事スル人或ハ民間ノ識者ノ間ニモ要求ガアル問題デアリマス、政府トシテハ是等ノ意圖ヲ十分考慮致シテ居リマスガ、今直チニ労働省ヲ設ケルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ

○委員長(河原田稼吉君) ソレデハ是デ休養致シマス、午後一時カラ開會致シマス

午後一時七分開會

○委員長(河原田稼吉君) ソレデハ委員會ヲ開キマス

○男爵久保田敏一君 此ノ労働組合法ガ通りマスト、大體今有様デハ生産ノ能力ガ非常ニ減リハシナイカト心配シテ居ル人ガ多イノデアリマス、今ノ日本ニ一審要求サレル所ハ、労働組合法ノ制定ト云フモノハ、主義「イデオロギー」ニ提ハレルト云フヨリモ、寧ろ實際ノ生産力、日本ノ生産力ドウナルカト云フコトガ主眼デヤナイカト思フノデアリマス、労働組合法ガ制定サレタ爲ニ、生産力減退スルト云フヤウナコトハ、今ノ日本ニ對シテハ重大ナル影響ヲ及スモノト思フノデアリマス、之ニ對スル厚生大臣ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(青田均君) 久保田男爵ノ御話ニナリマシタ如キ懸念ハ、事業家ノ間ニ相當廣ク行キ互ツテ居ル心配ノ一ツダト思ヒマス、御承知ノ通り現在ノ我が國ノ労働條件ヲ考ヘテ見テ、賃銀ニ於テ必ズシモ低賃銀デアルトハ思ヒマセヌ、ト云フコトハ、工場労働者、

其ノ他ハ比較的實物給付ノ制度ガ廣ク行ハレテ居リマシテ、日用品等ハ會社ノ手ニ依ツテ従業員ニ配給サレルコトガアリマス、日僑労働者ノ如キモ不幸ニシテ相當ノ閑資金ガ廣ク行ハレル、サウ云フ關係デ現在低賃金デアルトハ考ヘテ居リマセヌ、唯物價騰貴ノ趨勢ガ非常ニ急激デアル爲ニ、勢ヒ賃金ノ移動ヲ行ハナケレバナラナイヤウナ事態ハ生ジテ居ル思ヒマス、就業時間ニ於テモ必ズシモ長時間労働トハ言ヘナイト思ヒマス、殘ル所ハ能率如何ト云フコトガ日本ノ産業ノ將來ニ不安ヲ與ヘル、併シナガラ今日ノ労働意欲ノ昂揚セザル理由ナドヲ考ヘテ見テ、果シテ強制的ナ力ヲ以テスルコトガ能率ヲ增加セシメル所以デアルカ、或ハ又彼等ノ自發的ノ意思ニ依ツテ労働意欲ヲ振ヒ與サシメルコトガ宜イノカト云フ點ニナレバ、問題ナク彼等自ラノ發意ニ依ツテ労働精神ヲ振ヒ與スコトノ外ニ途ハナイ、斯様ニ私共考ヘルノデアリマシテ、サウ云フ意味ニ於テ労働組合法ノ如キモノヲ一日モ早く制定シ、彼等ニ將來ノ希望ヲ與ヘ、彼等ヲシテ責任ヲ執ラシメ、自ラ秩序ヲ統制アル言動ヲサシメルコトガ、日本ノ産業發達ノ爲ニ、將來ノ産業平和ノ爲ニ望マシヨノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○伯爵橋本實業君 只今ノ久保田男爵ノ御質問ニ關聯致シマシテ、私モ其ノ點ヲ御尋ね致シタイノデアリマス、終戰ニ依リマシテ、日本ハ新タニ民主主義ノ國トシテ再出發スルコトニナリマシタ、是ハ一面カラ致シマス、從來ノ所謂封建的ナ行キ方ヲ是正スル意味ニ於キマシテ、誠ニ結構ナ點モゴザイマスガ、其ノ民主主義傾向ト云フコト

ガ、今日尙世上決ツタ意味ニ解サレマセヌデ、動モ致シマスルト、人民ノ權利ダケヲ主張シ、義務ノ點ハ甚ダ蔑口ニサレルト云フ傾向ニ世ノ中ガ走ツテ居ルヤウニ思フノデス、殊ニ戰爭ニ依リマシテ、國民ノ道義ガ甚ダ低下致シ、一般ノ民衆、殊ニ若人達ノ行動ト云フモノハ、社會ノ秩序ニ必ズシモ合致シナイト云フ傾向ニ走ツテ居ルノデス、戰爭中若人達ハ無論労働員其ノ他デ隨分能ク働キハ致シマシタモノ、更ニ一歩立入ツテ實際ノ工場ノ様子ナシカラ見マス、學徒ノ勤勞者ハ別ト致シマ、普通ノ所謂工員ノ行動ト云フモノハ、矢張り監督ノ目カラ離レルト、ドウモ意欲狀態ニ入ルト云フヤウナコトモ、段々世間ノ注意ノ焦點ニナツテ居リマシテ、此ノ終戰同時ニ所謂民主主義的ナ傾向ガ澎湃トシテ起リマシタ結果ト致シマシテ、方々ノ工場ニ罷業ガ頻々トシテ起ツテ參ジタノデアリマス、サナキダ完全ニ労働組合法規ガナクテモサウ云フ氣運ヲ醸成致シマシタ所ニ、此ノ労働者ニ取リマシテハ非常ニ強イ後進ノ制度ガ出來マシタノヲ、之ヲ覆キ違ヘマシテ、自分達ニ非常ナ武器ガ與ヘラレタト云フコトニ氣勢ヲ添ヘマシテ、更ニ爭議ガ方々デ激化スルノデハナイカト云フコトガ憚ラレルノデアリマス、固ヨリ労働條件其ノ他ニ於テ改善スベキ點ハ多々ゴザイマセウケレドモ、矢張り先程私ガ中上デマシタヤウニ、民主主義ノ腹キ違ヘ、權利ノミヲ考ヘテ社會ノ全體ノ義務ト云フモノガドウモ若人達ノ間カラハマダ尊重サレ勝テナイ結果、此ノ有利ナ武器ヲ動モスルト濫用サレハシナイカ、其ノ結果只今久保田男爵ノ仰セノヤウニ、忽チ工場ノ生

産ニ影響ヲ來シ、是等ハ變テ日本ノ國  
力ヲ回復スベキ産業界ニ取リマシテ一  
ツノ大キナ障礙ニナリハシナイカト云  
フコトガ恐レラレルノデアリマス、是  
ハ固ヨリ此ノ完成シマシタ所ノ勞働法  
規ニ依リマシテ、勞働界ニ確固タル地  
位ガ與ヘラレ、又責任モ監督セラレル  
ト云フ方向ニ當局ノ御指導モゴザイマ  
セウシ、組合ノ「リーダー」其ノ他モサウ  
云フ氣構ヘテ同僚ノ人達ヲ指導スルデハ  
ゴザイマセウガ、其ノ點ガナカ／＼今日  
迄道義ノ低下致シマシタ所ヲ引戻スコ  
トハ非常ニ骨ガ折レ、時ヲ要スルト思  
フノデアリマス、只今大臣ノ御答ニ依  
リマスルト、ソレハ強力ヲ以テスルヨ  
リモ、斯ウ云フ制度ヲ以テ彼等ニ據リ  
所ヲ與ヘタガ自主的ニ立直ル、斯ウ  
云フ仰セデアリマシテ、私モ此ノ御方  
針ニハ全幅的ニ賛成デハゴザイマス  
ガ、扱、實際ノ運用上ソレガ右カラ左  
ヘ直ク參ルデアラウカドウカ、此ノ點  
ニ付テ大キナ懸念ヲ有ツテ居ル次第デ  
アリマス、今日勤勞意欲ノ低下致シテ  
居リマスルコトハ事實デアリマシテ、  
石炭ノ増産ニ付キマシテモ、炭山ニ人  
ヲ募集致シマシテモ、必ズシモ所期ノ  
通りニ應募者ガナイト云フヤウナコト  
モ矢張り勤勞意欲ノ缺陥ニ原因スルコ  
トデ、工場等ニ於キマシテモ、此ノ勞  
働法規ガ通ツタカラト云ツテナカ／＼  
勤勞意欲ガ昔ノヤウニ旺盛ニ立直ルト  
ハ直グニハ考ヘラレマセウ、是等ノ實  
情ニ對シマシテ、當局ト致シマシテ、  
是等ノ若イ人達ノ勤勞意欲ヲ振興サセ  
ルト云フ何カ確タル御方針ガゴザイマ  
セウカ、又御確信ガゴザイマセウカ、  
其ノ點ニ關シマシテ御所見ヲ伺ツテ置  
キタイ、尙私共ハ自分ノ過去ノ經驗  
ヲ申上ゲマシテ誠ニ恐縮デゴザイマス

ガ、嘗テ私ハ十七八年前「ドイツ」ニ  
居リマシテ、偶々彼ノ地ニ於キマシテ  
病氣ヲ致シマシテ、半年程「ベルリン」  
ノ郊外ノ病院ニ入ツテ居ツタコトガゴ  
ザイマス、其ノ病院ニ於キマシテハ、  
病棟ヲ新設シ、或ハ古い箇所ヲ修理シ  
テ居ルヤウナコトガゴザイマシテ、毎  
日大工、左官等ガ働キニ參ツタコトヲ  
日々餘所目デ見テ居リマシタ所、「ド  
イツ」人ノ國民性ト致シマシテ純重デ  
アツテ日本人程機敏ナ所ハゴザイマセ  
ウガ、非常ニ堅忍不拔ナ性格ヲ能ク現  
シテ居リマシテ、一見實ニ鈍イヤウデ  
ゴザイマスガ、朝決ツタ時間ニ參リマ  
シテ、途中ノ煙草休息モナク、晝迄ズ  
ツトブツ通シテ働ク、又晝間ノ時間ハ  
ユツクリ休息、午後ノ働ク時間ニナル  
ト能ク働ク、ノロマノヤウデアリマス  
ガ、成果カラ見マス、著々仕事ノ能  
率ヲ擧ゲテ居リマス、又自分ガ一旦引  
受ケテ致シマシタ仕事ノ場所ハ、頭株  
カラ催促ヲ受ケナクテモ自分デチヤン  
ト見廻ツテ、手落チノアツ、所ハ仕事  
ヲヤリ直ス、資材モ十分使ツテ、例ヘ  
リナシカハ、他リ上ゲテシマツテカラ  
ハ起ラナイト云フ見極メヲ付ゲテ、自  
分ノ得心ノ行ク迄仕事ヲ能クヤツテ居  
ル、此ノ點日本ノ職人等ノ手先ハ器用  
デアルケレドモ、動モスルト目ノ屈カ  
ナイ所ハ手ヲ抜クト云フヤウナ器用ナ  
氣持ハナイ、非常ニ鈍重デアリマス  
ガ、確實ナ仕事ヲヤツテ居ル、ソレハ  
鐵ヲ積リ積ツテ非常ニ堅實ナ成果ヲ收  
メルノデアリマス、是等ノコトヲ振返  
ツテ見マス、今日日本ノ若イ員達  
ガ、ナカ／＼ソコ迄ハ行カナクテ、矢  
張り取締ノ目ノ屈カヌ時ハ仕事ノ手ヲ  
緩メルト云フヤウナコトガ有リ勝テデ

アルト思フノデアリマス、勿論大臣ノ  
此ノ法案ノ立法理由ノ御説明ノ時ニ、  
此ノ法案、此ノ制度ニ依ツテ勞働界ニ  
一ツノ新シイ氣風ヲ與ヘテ、責任感ヲ  
持チ自主的ニサセルト云フ御話ハ能ク  
承リマシタガ、サウ云フヤウナコトヲ  
段々考ヘテ見マス、實際ノ社會ノ事  
情ト直グ調和シテ參リマスカドウカ  
非常ニ懸念致シテ居ルノデアリマス、  
勤勞意欲ノ昂揚ニ付キマシテ、何カ確  
タル御確信ガゴザイマスレバ改メテ御  
伺ヒシタイト思ヒマス  
○國務大臣(青田均君) 只今橋本伯爵  
ノ御話ノ通り近頃ノ風潮トシテ所謂民  
主主義ナルモノヲ履キ違ヘテ徒ニ放縱  
ナ、我儘勝手ナコトヲスルノガ民主  
義デアリ、自由主義デアルト云フ風ナ  
弊害ガ現レテ來ルコトハ至ク同感ニ存  
ジマス、歸スル所ハ各人ガ如何ニ自己  
ニ忠實デアルカ、ドノ程度ニ責任感ヲ  
持ツテ居ルカト云フコトガ、勤勞意欲、  
勞働能率ノ問題ニ重大ナ影響ヲ與ヘル  
ノデアルト考ヘテ居リマス、併シナガ  
ラ法律制度ノ力ニ依ツテ、直ニ是ク  
ノ加キ精神ヲ鼓吹シ得ル如ク作り上ゲ  
ルコトハ非常ニ困難デアリマス、制  
度ト法律ハ謂ハバ柁ノヤウナモノデア  
ル、柁ガ出來上ツタカラ其ノ内容ガ直  
グ良クナルト考ヘルコトハドウモ正當  
ヲ缺イテ居ルヤウニ私ハ考ヘマス、併  
シ居ハ心ヲ移スト云フ言ヒマス通り、今迄  
仲間部屋ノ隅ツコニ押込メラレテ居タ  
人間デモ、之ニ一人前ノ御座敷ニ通シ  
テ、否デモ應デモ御行儀良クシナケ  
レバナナイヤウナ境遇ニ置ケバ良ク  
ナル人間ガ相當ニアル、卑俗ナ譬ヘデ  
申シマスレバ、此ノ勞働組合法ノ根本  
ノ狙ヒハサウ云フ所ニアルト我共ハ  
考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ

其ノ法律ガ出來タカラ、直グニソレニ  
依ツテ精神生活ノ方面迄著シイ變化ヲ  
與ヘルト云フ風ナ期待ヲ置ケトハ出  
來ナイト思ヒマス、無論ソレハ精神運  
働ニ俟タナケレバナナイ、教養ニモ  
俟ツ所ガ多イ、又境遇ノ變化ニモ重大  
ナ影響ヲ受ケル問題デアリマスカラ、  
橋本伯爵ノ御説ノ如ク法制ノ完備ニ依  
ツテ直グニ其ノ效果ガ現レテ來ルカド  
ウカト云フコトニ付テハ、左様ニ早急  
ニ效果ガ舉ルトハ考ヘテ居リマセウ、  
併シ好ムト好マザルトニ拘ラズ、此ノ  
途ヲ行クヨリ外手ガナイト云フ事情モ  
考ヘマシテ、是ヨリ以上ノ方法ガアル  
トスレバ矢張り一日モ早く組織アル組  
合ノ中ニ勞働者ノ秩序ト統制ヲ維持サ  
シテ行クト云フコトガ、國家トシテハ  
爲シ得ル唯一ノ方策ト左様ニ考ヘテ居  
ル譯デアリマス  
○伯爵橋本實斐君 此ノコトハ了承致  
シマシタガ、法制カラ離レマシテ今日  
ノ青年ノ勤勞意欲ノ昂進スル、昂揚サ  
セルト云フコトニ付キマシテハ、自主  
的ナ方法ニ放任スルコトモゴザイマセ  
ウガ、官廳トシテ何カ指導面ニ御立チ  
ニナツテ御盡シニナル御手段モゴザイ  
マセウガ、其ノ點ノ御方針ハ如何デゴ  
ザイマスカ  
○國務大臣(青田均君) 其ノ點ニ付キ  
マシテハ内閣ニ於キマシテモ、組閣以  
來屢々論議サレテ居ル問題デアリマシ  
テ、或ハ國民運動等ノ方法ニ依リ勞働  
意欲ノ昂揚ヲ圖リタイト云フ風ナ説モ  
アツタノデアリマス、併シナガラ從來  
ノ國民運動ノ中ニハ動モスルト唯懸聲  
バカリニ止マツテ、必ズシモ所期ノ目  
的ニ達シナカタヤウナコトモアル弊  
害ニ鑑ミマシテ、今迄ヤリ來ツタ通り  
一遍ノ方法バカリデハ目的ヲ達シナ

イ、勞働意欲ガ昂揚シナイト云フノハ  
矢張りソレト、ノ原因ガ手傳ツテ居ル  
ノデアツテ、之ヲ勞働者ノ能率ノ擧ラ  
ナイト云フ點カラ考ヘテ見マス、第  
一ニハ食糧問題ニ依ツテ惹起サレタ  
同盟罷業ガ、罷業ノ中ノ大部分ヲ占メ  
テ居ル、或ハ食糧以外ノ物資ノ配給ガ  
不公平ニ行ハレテ居ルト云フ點モアリ  
マス、又戰時中戰爭ニ勝ツ爲ニ隨分無  
理ナ方法デ人ヲ集メタト云フヤウナ事  
實モアリマス、今迄ハ戰爭ニ勝タムガ  
爲ニ、難キヲ忍ビテ沈黙ヲ守ツテ居  
タ、戰爭終了後ノ時期ニナツテ見ル  
ト、最早此ノ儘テハ忍耐ガ出來ナイト  
云フヤウナ氣持カラ今迄不當ナル取扱  
ヒヲ爲シテ居ツタト思ハレルモノニ對  
シテ不平不満ガ爆發シタヤウナ罷業モ  
アル、ソレ等ノ原因ヲ個々ニ除イテ行  
カナケレバ、精神運動ダケハ勞働意  
欲ヲ昂揚サセルコトモ無理ダ、斯様ニ  
考ヘマシテ、食糧問題ノ解決、物資配  
給面ノ改善、ソレ／＼施策ハ致シテ居  
リマスガ、御承知ノ如キ今日ノ事情ニ  
於テハ其ノ點ガ思フヤウニ迅速ニ運バ  
ナイ所ガアリマシテ、石炭不足ノ問題  
ノ如キモ、矢張り之ガ爲ニハ多大ノ障  
碍ヲ受ケテ居ルト云フ事情デアリマ  
ス、ソレト同時に精神運動トシテ勞働  
者自體ノ修養反省ニ待ツ點モ無論重要  
ナ部面ヲ持ツテ居ルノデアリマスカ  
ラ、此ノ方向ニ於テモ將來啓蒙教育ニ  
力ヲ注ギタイト考ヘテ居リマス、政府  
直接ノ事業トシテ種々ハ教育機關之  
ガ爲ニ設ケルト云フ考ハ持ツテ居リマ  
セウガ、勞働組合自體ノ施設トシテ或  
ハ修養ノ團體ヲ作り、若クハ圖書館  
ノ他ノ施設ヲ行ツテ此ノ方面ニ幾分ナ  
リトモ改善ノ途ヲ講セシメタイト云フ  
考デ居ル次第デアリマス

○男爵久保田敬一君 昨今非常ニ方々ニ勞働爭議が起ツテ居リマスガ、其ノ主ナルモノハ炭坑ニ於ケル勞働爭議ト交通機關係ノ勞働爭議ト思フノデアリマス、炭坑ノ方ハ非常ニ今右炭ノ増産ノ爲ニ其ノ手ヲ盡サレテ或ハ其ノ勞働爭議ノ解決モ緒ニ付イタヤウニ思フノデスガ、交通關係ノ方ノ勞働爭議ハ益々ヒドク起ツテ居ルヤウデアリマス、現ニ運輸省ノ中ニ於テモ工場、機關等ニ勞働爭議ガアルヤウデアリマス、又私設鐵道ノ方面ニモサウ云フ勞働爭議ガアルヤウニ思フテ居ルガ、是ハ一般ノ公衆ニ對シテ非常ナ脅威ヲ與ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ關スル大體ドウ云フ爭議が起ツテ、ドウ云フ風ナ解決ノ方面ニ向ヒツ、アルカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、運輸省ノ政府委員デモ

○國務大臣(青田均君) 只今ノ久保田男爵ノ御質問ノ點ハ、厚生省方面デマダ十分調査ヲ致シテ居リマセム爲ニ、御答ヲスベキ材料ガ揃ツテ居リマセム、運輸省ノ關係政府委員カラ説明ヲシテ貰フコトニ致シマス

○政府委員(富山清憲君) 只今久保田男爵ノ御質問ニ於キマシテ、現在迄ニ調査ノ屆キマシタ分ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、國有鐵道ニ付キマシテハ、一番最初ニ大宮ノ工機部デ給與ノ増額並ニ勤務時間ノ短縮ニ付キマシテ若イ技工ノ職員ガ工機部長ニ之ガ改善方ヲ迫リマシタ、本件ニ付キマシテハ東京鐵道局ノ首腦部對工機部ノ技工ノ代表職員ノ間ニ圓滿ニ解決ヲ遂ゲマシタ、續イテ大キナ事件ト致シマシテハ、郡山ノ工機部ニ同様ノ事件ガ發生致シマシタ、是ハ只今申上ゲマシタ二件ノ外ニ、工機部内ニ於ケル戰時中ノ

勤務並ニ上長ノ命令等ノ問題ニ付キマシテ、戰爭責任トカト云フヤウナ點ノ要求ニ關スル提示モアリマシタガ、本件ニ關シマシテモ、仙臺鐵道局對爭議ノ當事者並ニ大宮工機部ノ爭議當事者デアツタ人々ガ郡山ヘ參リマシテ、大宮局ニ於ケル事情ヲ能ク説明ヲシ、鐵道ノ如キ交通上重要ナ機關ノ機能ヲ止メルヤウナ考ヘ方ヲ持ツコトハ、鐵道職員自體トシテ根本的ニ誤リデアルト云フ同僚ノ忠告ニ依リマシテ是又圓滿ニ解決ヲ致シマシタ、其ノ他札幌鐵道局ニ於キマスル工機部關係ノ同様ナ要求ノ提示、又門司鐵道局小倉工機部等ニ於キマス同様ナ要求ノ提示、或ハ各大都市附近ノ主要ナ機關ニ於キマスル同様ナ要求ノ提示ガアリマシタガ、是等ニ關シマシテハ各鐵道局ノ首腦部ガ篤ト從事員ト面談折衝ヲ遂ゲテ了解ニ到達致シマシテ、現在ノ所デハ國有鐵道ニ關スル限りハ、作業上何等困難ヲ見テ居ラナイヤウナ狀況デゴザイマス、勿論從事員全般ノ強イ希望デアリマス給與ノ改善、勤務時間ノ短縮等ノ問題ニ付キマシテモ、目下國有鐵道

○政府委員(富山清憲君) 只今久保田男爵ノ御質問ニ於キマシテ、現在迄ニ調査ノ屆キマシタ分ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、國有鐵道ニ付キマシテハ、一番最初ニ大宮ノ工機部デ給與ノ増額並ニ勤務時間ノ短縮ニ付キマシテ若イ技工ノ職員ガ工機部長ニ之ガ改善方ヲ迫リマシタ、本件ニ付キマシテハ東京鐵道局ノ首腦部對工機部ノ技工ノ代表職員ノ間ニ圓滿ニ解決ヲ遂ゲマシタ、續イテ大キナ事件ト致シマシテハ、郡山ノ工機部ニ同様ノ事件ガ發生致シマシタ、是ハ只今申上ゲマシタ二件ノ外ニ、工機部内ニ於ケル戰時中ノ

狀態カラ、料金を從事員獨自デ收受致シマシテ、ソレヲ從事員間デ分配シ、殘額ヲ供託スルト云フヤウナ違法ナ方法ニ出マシテ極メテ惡化シタ狀態ニアリマス、ソレ以上ニ付キマシテハ、東京高速度交通機關ニ於キマシテ、從事員カラ基本給料ノ三倍ノ引上、其ノ他ニ關スル要求ガ出テ、東京急行ニ付キマシテハ手取ノ五倍ノ引上ヲ要求スルト云フヤウナ事態ガ發生ヲ致シマシタ、又茨城交通茨城鐵道ニ於キマシテハ、賃銀ノ二倍ノ引上ヲ要求致シテ居リマスガ、茨城、東京高速度交通機關、此ノ兩者ハ極メテ圓滿ニ解決ヲ致シマシタ、東京急行ニ付キマシテハ十八日方雙方ノ正式會議ニ依ル、要求ニ對スル回答デアルヤウニ承知致シテ居リマスノデ、現狀ト致シマシテハ、何等爭議的ナ行動ニ出テ居ラズ、極メテ順調ニ運轉ヲ致シテ居リマス、京成電車ニ付キマシテハ、當初三分ノ一程度ノ電車ノ運轉シカ見ナカッタノデアリマスガ、最近デハ稍々改善サレテ居ルヤニ聽イテ居リマス、本件ニ付キマシテハ、我々ト致シマシテ、厚生當局トモ協議ノ結果、出來得ル限り懇談的ニ任意調停ノ方法ニ出ルコトガ最モ望マシト考ヘマシテ、屢々爭議委員長ノ許迄職員ヲ派シマシテ、會社側ノ言ヒ分ダケデナク、從事員側ノ言ヒ分モ能ク聽イタ上デ、調停ニ掛ケルコトガ、社會公共ノ重要ナ機關デアアル交通從事員ノ爭議ニ於テ一番望マシイコトデアリ、過激サウ云ツタ無賃乘車デアルト云フヤウナヤリ方ハ、適當デアアルマイト云フコトヲ屢々申入モシ、懇談モ致シタノデアリマスガ、從事員側ト致シマシテハ、今暫ク待ツテ欲シト云フ一言デアリマシテ、當方ヘ

○政府委員(富山清憲君) 只今久保田男爵ノ御質問ニ於キマシテ、現在迄ニ調査ノ屆キマシタ分ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、國有鐵道ニ付キマシテハ、一番最初ニ大宮ノ工機部デ給與ノ増額並ニ勤務時間ノ短縮ニ付キマシテ若イ技工ノ職員ガ工機部長ニ之ガ改善方ヲ迫リマシタ、本件ニ付キマシテハ東京鐵道局ノ首腦部對工機部ノ技工ノ代表職員ノ間ニ圓滿ニ解決ヲ遂ゲマシタ、續イテ大キナ事件ト致シマシテハ、郡山ノ工機部ニ同様ノ事件ガ發生致シマシタ、是ハ只今申上ゲマシタ二件ノ外ニ、工機部内ニ於ケル戰時中ノ

出テ參ル様子モ見エマセムノデ、我々トシテハ、此ノ儘デ拾テ、置ク譯ニモ參リマセムノデ、聯合軍司令部ノ「レーパー・セクション」ノ方ヘ參リマシテ、事態ガ不法措置ニ出テ居ルノデ、之ニ對シテ然ルベキ措置ヲ採リタイト云フコトヲ申入レタノデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ、餘リ贊成ノ意ヲ表シテ居ラナイノデアリマシテ、出來得ル限り雙方任意的ナ調停ニ依ツテ處理サレルコトヲ希望スル、併シナガラ一方ガ任意調停ニ應ジナケレバドウニモ、他ノ事業ト違ヒマシテ、交通事業ノ如キハ、社會公衆ニ重大ナル利害ヲ有シ、御迷惑ヲ掛ケルコトニナルノデ、我々トシテハ此ノ儘拾テ置ク譯ニハ行カナインノデ、強固調停ノ方法モ考ヘモ考ヘナケレバナラヌ、斯様ナ我々ノ方ノ意向ヲ昨日表明シテ參ツタヤウナ次第デアリマスルガ、尙之ガ處理等ニ付キマシテハ、厚生當局等トモ協議致シマシテ、出來得ル限り速カニ適切ナ處理ヲ致シタイト斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、其ノ他關西方面等ニ於キマシテハ、マダサウ言ツタ爭議ト云フ程ニ申上ゲル程度ニハ至ツテ居リマセムガ、ソレハ最近ノ窮迫シタ一般交通從事員ノ生活狀況ニ關聯致シマシテ、増俸、勤務時間ノ短縮等ニ付テノ要求ガ各所ニボツ／＼出テ參ツテ居ルヤニ承知致シテ居リマス、大體私共ノ承知シテ居リマス限リノコトニ付キマシテ、御報告申上ゲタ次第デアリマス

○政府委員(富山清憲君) 只今久保田男爵ノ御質問ニ於キマシテ、現在迄ニ調査ノ屆キマシタ分ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、國有鐵道ニ付キマシテハ、一番最初ニ大宮ノ工機部デ給與ノ増額並ニ勤務時間ノ短縮ニ付キマシテ若イ技工ノ職員ガ工機部長ニ之ガ改善方ヲ迫リマシタ、本件ニ付キマシテハ東京鐵道局ノ首腦部對工機部ノ技工ノ代表職員ノ間ニ圓滿ニ解決ヲ遂ゲマシタ、續イテ大キナ事件ト致シマシテハ、郡山ノ工機部ニ同様ノ事件ガ發生致シマシタ、是ハ只今申上ゲマシタ二件ノ外ニ、工機部内ニ於ケル戰時中ノ

上、詰リ生活ノ改善ト云フヤウナコトカラ行キマス、今ノ有様デハ今ノ給料デ暮シテ行クト云フコトハ到底出來ナイノデアツテ、今要求シテ居リマス給料ノ三倍増額トカ、五倍増額ト云フコトハ、非常ニ突飛ナヤウニ思ハレマスケレドモ、今ノ闇相場トカ、色々ナコトヲ考ヘマス、必ズシモ三倍、五倍ガソナ不當ナ要求デヤナイヤウニ思ハレルヤウナ點モアルノデアリマス、ソレデ國有鐵道ハ別トシマシテ、地方鐵道、民間私設鐵道ニシマス、其ノ賃銀ノ増額ノ要求ヲ容レレバ必然鐵道ノ經營ガ出來ナクナルト云フヤウナコトニナルノデアリマシテ、勞働者ノ側カラ言ツテモ、鐵道ノ側カラ言ツテモ、之ヲ調停委員會ニ掛ケマシテ、又調停シテモ、ドウモ調停ノ仕様が、兩方トモ無理ガナイト云フヤウナ結果ニナルノデアリナカ、結局落著ク所ハ賃銀ノ、勞銀ト申シマス、運賃ノ値上ト云フコトニ落著クノデヤナイカト思フノデアリマシテ、政府ガ地方鐵道ノ勞銀ヲ抑ヘテ居ツテ、今マ普通ニ考ヘラレル所ニ依リマス、不當ニ安イト云フヤウニ考ヘラレテ居リマスガ、之ヲ何トカシテ處理シナイ以上ハ、此ノ爭議ト云フモノハ一時ハ落著イテモ、結局ハ何處カ勃發シテ行詰ラナケリヤナラヌコトニナルダラウト思フノデアリマス、ソレ等ニ對シテ當局ノ御考ハドウデゴザイマセウカ

○政府委員(富山清憲君) 久保田男爵ノ御質問ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテモ大體同様ナ考ヲ持ツテ居リマシテ、ソレハ會社ノ財政ノ事情ニ應ジマシテ、或ハ配當ノ制限、勿論單ニ配當ノ一分ヤ二分ノ制限ダケデハ到底負擔シ切ラナイヤウナ狀況ニアリマス

ルノデ、其ノ鐵道々々ノ實情ニ應ジマシテ運賃ノ値上ニ付キマシテモ許可ヲ致ス方針デ、日下實情ヲ調査致シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス

○侯爵中山純親君 今ノ久保田男爵ノ御質問ニ關聯ガ……多少似テ居ル所カアルノデ、ソレヲ御伺ヒシタイト思ヒマスガ、今鐵道ノコトデ御話ガアリマシタガ、是モ私ガ伺ヒタイト思フノハ、矢張り同ジヤウナ意味デ、日本ノ實情會社ノ多クノモノガ平和産業ニ轉換シテ參ツテ居ル會社ニ付テ、矢張り同ジヤウナ爭議ガ四ツ五ツアルヤウニ思ハレルノデアリマス、ソレデ多クノ軍需會社ハ御承知ノ通り終戦後直ニ自己ノ生産シテ居ル物ハ賣レナイノデアリマスカラ、結局器具ヲ作ルカ、鍋トカ、釜ヲ作ルカト云フヤウナコトヲ盛シニヤツタノデアリマスガ、其ノ結果鍋トカ、釜トカト云フモノヲ作ツテ、之ヲ一般ノ市場ニ賣却シヨウト云フコトニナルト、ソレハ指示價格ヲ申請シテ、サウシテソレニ依ツテ價格ヲ決メテ賣ツテ市場へ出ス、處ガ其ノ價格ガ非常ニ安イノデ、大體決メラレテアツタ豫定ガ、例ヘバ大キナ鍋ヲ作ツテモ、ソレガタツタ五圓ノ指示價格デアルト云フヤウナコトガアツタリシテ、却テソレヲ作ツテ居ルガ爲ニ、其ノ會社ハ非常ニ損害ヲ受ルハソレナラバ寧ロソレヲ工員ニ分ケテ、工員ハ百姓ニ持ツテ行ツテ米ト交換シタガ工員ノ生活狀態ハ善クナルト云フヤウナ結果ニナル、サウシテ又器具ヲ作ルト縣デハ是非非常ニ宜イカラ、是非澤山作ツテ見ルト云フコトニナツテ、サテ作ツテ見ルト結局縣デモ豫算ガナイカラトカ、或ハ何トカ云フコトデ、百姓ハ非常ニ其ノ農具ヲ欲シガツテ居リナガラ、價格ガ非常ニ安ク決定サレナケレバラスト云フヤウニ、官廳ノ方々ノ頭ガ十分切り替ハツテ居ナイ爲ニ、相當サウ云フコトニ對シテ同情ガナクテ、止ムナク農具ハ農家へ只デ寄附シタト云フヤウナ例モアルノデアリマスガ、而モサウ云フ會社ニ色々聞イテ見マス、結局今御話ガアツタヤウニ、五倍ナリ何倍ナリノ賃金ノ要求ガ出ル、又ソレヲシナケレバナラナイヤウナ狀況ニナツテ來ル、サウスルト今御話ノヤウニ運賃ノ値上ト同様ニ、矢張り是等ノ生産品ノ値段モ變ヘテ行カナケレバナラナクナツテ來ル、サウナルトソレヲ解決シナクチャナラナイガ、サウナレバ今度ハ値段ヲ上ゲナケレバ、企業其ノモノガ成立シナイト云フ所ニツツカツテ來ルト思ヒマス、ソコデ其ノ點ニ付テ商工當局モ段々梓ヲ外シテ行クト仰セテ居リマス、處ガ一面大蔵省カラ言ハセルト、サウヤツテ行ツテハ惡循環ニナル、段々サウヤナル物價ニ上リ、賃金モ上ゲナケレバナラナイ、競争ニナルト、此ノ點ヲ非常ニ畏レテ居ラレル、是ハ昨年私ハ北京ヤ、天津ヲ廻リ、上海ヲ見テ、其ノ點ハ確カニ大イニ憂慮スベキモノガアルト考ヘマス、ソレデ一體政府ハ斯ウ云フ場合ニ、ドノ程度ニ賃金ノ値上ヲ裁定サレテ、サウシテドノ程度ニ物價ヲ持ツテ行カレルカト云フコトガ一番大事ナモノト思ヒマス、其ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(青田均君) 今日ノヤウナ「インフレーション」ノ時代ニ、俸給賃銀ヲドノ點ニ基準ヲ置イテ決定メテ行クカト云フコトハ、最モ困難ナ問題デアリマス、現在執ツテ居リマス方針ハ、御承知ノ通り昭和十五年ノ賃銀統制令ヲ、價格ガ非常ニ安ク決定サレナケレバラスト云フヤウニ、官廳ノ方々ノ頭ガ十分切り替ハツテ居ナイ爲ニ、相當サウ云フコトニ對シテ同情ガナクテ、止ムナク農具ハ農家へ只デ寄附シタト云フヤウナ例モアルノデアリマスガ、而モサウ云フ會社ニ色々聞イテ見マス、結局今御話ガアツタヤウニ、五倍ナリ何倍ナリノ賃金ノ要求ガ出ル、又ソレヲシナケレバナラナイヤウナ狀況ニナツテ來ル、サウスルト今御話ノヤウニ運賃ノ値上ト同様ニ、矢張り是等ノ生産品ノ値段モ變ヘテ行カナケレバナラナクナツテ來ル、サウナルトソレヲ解決シナクチャナラナイガ、サウナレバ今度ハ値段ヲ上ゲナケレバ、企業其ノモノガ成立シナイト云フ所ニツツカツテ來ルト思ヒマス、ソコデ其ノ點ニ付テ商工當局モ段々梓ヲ外シテ行クト仰セテ居リマス、處ガ一面大蔵省カラ言ハセルト、サウヤツテ行ツテハ惡循環ニナル、段々サウヤナル物價ニ上リ、賃金モ上ゲナケレバナラナイ、競争ニナルト、此ノ點ヲ非常ニ畏レテ居ラレル、是ハ昨年私ハ北京ヤ、天津ヲ廻リ、上海ヲ見テ、其ノ點ハ確カニ大イニ憂慮スベキモノガアルト考ヘマス、ソレデ一體政府ハ斯ウ云フ場合ニ、ドノ程度ニ賃金ノ値上ヲ裁定サレテ、サウシテドノ程度ニ物價ヲ持ツテ行カレルカト云フコトガ一番大事ナモノト思ヒマス、其ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

ト云フモノガアリマシテ、ソレニ依ツテ最低賃銀ヲ決メテ居リマスガ御承知ノ如キ生活費ノ向上ニ伴ツテ現在ノ最低賃銀ハ生活困難ナ事情ハ能ク分ツテ居リマス、從ツテ遠カラミ、賃金統制令ヲ改正致シマシテ、工場労働者ニ付テモ、恐ラク相當程度ノ値上ハ早ク行ハナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、鑛山労働者ノ方ハ賃銀ノ値上ヲハ十二回坑外夫ガ七回ノ賃銀ニナツテ居リマス、併シソレデモ尙彼等ノ生活ガ必ズシモ樂トハ言ヘナイ狀況ニアリマスカラ、工場労働者ノ賃金ヲ引上ゲル場合ニ、鑛山労働者ノ賃金モ矢張り引上ゲナケレバナラナク存ジテ居リマス、併シナガラ御承知ノ通り物價ノ騰貴ニ伴ツテ、賃銀ヲ引上ゲマスト、賃銀ノ引上ハ又物價騰貴ヲ誘發スルト云フ惡循環ニナリマスノデ、根本對策ハ「インフレーション」ヲ何處デ喰止メルカト云フコトガ決マラナイ限り、賃銀値上ハドウシテモ行ハナケレバナラナイ破目ニ陥ルデハナイカト心配致スノデアリマス、尙インフレーションヲ防止ノ問題ニ付キマシテハ、本會議、豫算委員會等ニ於テ、所管大臣ヨリソレレ說明サレタコトト思ヒマスカラ、無論私ハ之ニ觸レル意思ハアリマセスガ、大體サウ云フ風ニ日先々ノ事情ニ即應ジテ賃銀ノ問題ヲ考ヘル以外ハ、恆久的ノ賃銀政策ヲ決メルコトハ殆ド不可能ノ狀態ニアルト云フコトヲ御承知願ヒマス

○男爵八代五郎造君 此ノ法律ノ「施行ノ期日ハ法令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、大體政府ノ意向トシテ何時頃之ヲ實際ニ行ハレルモノデアリマセウカ、今ノヤウニ經濟事情ガ非常ニムジカシイ時代ニ立至ツテ居ル時ニ、此ノ法律ヲ施行サレル期日ト云フモノハ相當ムジカシイノデハナイカト思フノデアリマス、只今ノ勞銀問題、物價問題、其ノ他色々ノ問題ガ之ニ關聯シテ居ルノデアリマス、大體御意向ハ何時頃デアリマセウカ

○國務大臣(青田均君) 八代男爵ノ御意見至極御尤モナ所ガアルト思ヒマス、ソレト同時ニ尙内外ノ情勢ニ鑑ミマシテ、此ノ實施ヲ遲延サセルコトモ如何カト考ヘマスカラ、只今ノ所デハ明年二月一日以降實施シタイト考ヘテ居リマス

○伯爵橋本實斐君 先程久保田男爵ヨリ交通事情ニ關スル御話ガゴザイマシタガ、只今ノ物價騰貴ノ趨勢カラ致シマスト、段々サウ云フ事例モ頻發シテ參ル、サウシテ「ゼネラル・ストライキ」ニ移ルヤウナ形勢モ起リ得ルカト思フノデアリマスガ、是ハ一方ニ於キマシテ無論勞働者自身ガ自己ノ利益ヲ保護スル當然ノ權利トシテ行ハレル「ストライキ」デアリマスガ、他面公衆ノ交通ノ利益、延イテハ公衆ノ治安、安寧ニモ及ス所ガアルカト思フノデアリマス、個人ノ利益ト公衆ノ利益トヲ天秤ニ懸ケマスト、矢張り公衆ノ利益ヲ一段ト重ク見ナケレバナラヌヤウナ事態モ考ヘラレマスノデ、サウ云フ場合ヲ豫想シテ、「ストライキ」ノ權利ハ別デゴザイマスガ、ソレヲ差シ措イテモ公衆ノ利益ヲ保護スルヤウナ見地カラ致シマシテ、ソレヲ取締ノヤウナ條項ハ此ノ法制ニハ御考ヘナイノデゴザイマスガ、別ニサウ云フコトニ關聯シマシタ規定ハ則則ノ中ニナイノデゴザイマセウカ

○國務大臣(青田均君) 橋本伯爵ノ御質問ニナリマシタ點ハ、二ツニナルヤウニ思ヒマス、一ツハ總同盟罷業ヲヤツタ場合ト、モウ一ツハ公共事業等ノ罷業ノ場合ト、兩方合シテ居ルヤウニ了解致シタノデアリマスガ、公共事業ノ方ノ同盟罷工ニ付キマシテハ、先刻御答ヘシマシ勞働爭議調停法ノ中ニ特ニ爭議ノ中止ヲ命ズル規定等ヲ設ケマシテ、適當ニ處分サスルコトガ出來ルト思ヒマス、總同盟罷工方起ルヤウナ場合ニ、何等カ策ガアルカト云フ御質問デアリマシタガ、總同盟罷工ハ、此ノ法律ニ認メテ居ル勞働組合ノ目的、即チ勞働條件ノ維持改善、其ノ他經濟的ノ地位ノ向上ヲ圖ルモノトハ認メラレナイト思フ、多分ニ政治的ノ色彩ヲ帶ビテ居ルノデアリマスカラ、此ノ法律ニ依ル正當ナル罷業行爲ト認メルカドウカニ付テハ私ハ外國ノ例ナドヲ見マシテ、寧ロ是ハ別個ノ法律ヲ取縮ルベキデアルト斯様ニ考ヘテ居リマス

○伯爵橋本實斐君 先程私ノ質問ノ上ゲ方ガ惡クツテ、明瞭ヲ缺イタヤウデアリマスガ、只今ノ御答デ能ク分リマシタ、此ノ機會ニ外國ノ立法例ヲ參考ニ、例ヘバ「アメリカ」ノ「イギリス」ノ「フランス」邊リノ總同盟罷業ノ關係ニ付キマシテノ制度ガ御分リデゴザイマシタラ、一ツ參考ニ御聽カセ願ヒマス

○政府委員(高橋庸彌君) 「イギリス」ノ「アメリカ」ノ「フランス」ノ此ノ勞働組合法ノ重要ナル點ニ付テハ、外國立法例ノ資料ガゴザイマスカラ、差上ゲタイト思ヒマス、御尋ノ「ゼネラル・ストライキ」問題デアリマスガ、「イギリス」ノ「デモ」法トシテ居リマス、恐ンク他ノ諸外國デモサウダト思ヒマス、日本ニ於テモ同様ニ解スベキデアルト思ヒマス

○侯爵中山輔親君 此ノ法案ニハ規定ハナイノデアリマスガ、労働者ガ企業ノ經營ニ參加シタイト云フ要求ニ關シテ、及ビ又ツノ労働組合ニ屬シテナイ者ヲ、其ノ會社ニ採用スル場合ニ、其ノ労働組合ノ幹部ガ承認ヲシナケレバ入ツチヤイケナイト云フヤウナ要求ヲスル場合ガアル、其ノ二ツノ場合ハ此ノ法案ニハナイノデゴザイマスガ、サウ云フコトガ出來ルノデセウカ

○國務大臣(青田均君) 中山侯爵ノ後ノ方ノ御質問ハ諸外國ニ於テモ非常ニ論議サレマシタ問題デアリマシテ、是ニハ色々關聯シタ事項ガアリマスカラ、政府委員カラ詳細ニ説明致サセマス、初メノ御質問ノ労働者ノ企業參加ノ問題デアリマスガ、是ハ政府ト致シマシテ、産業平和ノ爲、或ハ能率増進ノ爲ニ、企業參加ハ望マシヨトト存ジマス、併シナガラ法律ヲ以テ企業參加ノ權利ヲ認メルト云フコトハ、採用スル迄ニ至ツテ居リマセス、企業參加ヲ認メルカ認メナイカト云フコトハ事業主ト労働者トノ間ニ、自由ニ取決メヲナスベキモノデアツテ、之ニ對シテ、別ニ法律上ノ規定ハ何ニモ設ケナイ、斯ウ云フ趣意デアリマス

○政府委員(高橋庸彌君) 問題デアリマス此ノ「オープンショッパ」ト「クローズドショッパ」デアリマスガ、本法ニ於キマシテハ「オープンショッパ」ト「クローズドショッパ」トノ問題ハ全然規定ニ置カナカッタノデアリマス、此ノ問題ハ勞務法制審議委員會ニ於キマシテモ色々論議ガアリマシタデスガ、日本ノ現狀ニ於キマシテハ、此ノ問題ハ使用者並ニ労働者ノ間ノ自由ニ協約シ得ル範圍ニ委シタ方ガ、日本ノ現狀ニ於テハ適當デアルト云フ委員會ノ答

申モアリマシテ、政府自體ト致シマシテモソレヲ適當ト致シマシテ、本法ニハ何等規定ヲ置カナカッタノデアリマス、從ヒマシテ、ソレハ當事者間ノ労働協約ノ自由ニ規定シ得ルコトシタノデアリマス、若シ御話ノヤウナ場合ニ、使用者側方之ヲ同意シテ、此ノ協定ガ出來マシレバ、御話ノヤウナコトガ出來マス、出來ナケレバ出來ナイ譯デアリマス、英國ノ例ニ於キマシテハ、公共團體ノ事業ニ付キマシテハ、「オープンショッパ」ヲ採ツテ居リマス、「アメリカ」ノ立法ハ、其ノ點ニ付テハ、我が日本ノ此ノ法案ト同ジク全ク自由ニ任シテアリマス

○委員長(河原田修吉君) 厚生大臣ニチヨット伺ヒマスガ、昨日ノ新聞デスガ「マツカサ」司令部カラ、明年上期ノ危機ニ對處シテ可ナリ詳細ナル指令ガ出マシタデスガ、之ニ對シテ大體ドンナ御計畫ガアリマシタスカ、此ノ中ニ斯ウ云フ字句ガアリマス、「聯合軍司令部ハ政府ガ働クコトガ不可能ナ爲、職ヲ得ルコトガ不可能ナ爲、又ハ政治、宗教、經濟、政策上ノ見解ノ爲ニ食糧其ノ他ノ必需品ノ配給ニ差別待遇ヲスルコトヲ阻止スル爲ニ、總テノ必要ナ措置ヲ採ルヤウ命令トシテ居ル」、「ソレカラ又最後ノ方ノ項ノ所ニ、「救済費用額ノ區別推定數」トアツテ、「此ノ條書ノ意圖スル所ハ云々」ト、又眞中ノ所ニ「收入アル職ヲ得ルコトガ出來ヌ爲、又ハ政治的、宗教的或ハ經濟政策上ノ見解ノ爲ニ、入手可能ナ供給物資ノ配給上ノ差別待遇ガ行ハレルコトヲ阻止スル爲ノ措置ヲ直チニ講ズベキデアル云々」トアリマスガ、ドウ云フ意味ヲ含ンデ居ルノデアリマス

○國務大臣(青田均君) 其ノ指令ハ日本ノ實情ニ餘リ通ジナイ人ガ筆ヲ採ツタヤウナ配分アルト思ヒマス、ト云フノハ、既ニ御承知ノ通り、我が國ニ於テハ、人種、宗教等ノ差ニ依ツテ食糧物資ノ配給ヲ異ニスル等ト云フコトハ網對ナイコトデアリマシテ、特ニ人種、宗教等ノ差別ニ依ル待遇ヲ停止スル爲ト云フ言葉ハ適用ノナイ言葉ダト思ヒマス、後ノ失業對策並ニ貧窮對策、之ヲ具體的ニドウ云フ方法ニ依ツテ行フカ、其ノ經濟ハ凡ソ幾ラニナル、人數ハ何名ニナルカ、斯ウ云フコトヲ要求シテ居ル、一口ニ申セバサウ云フコトニナルト思ヒマス、ソコデ失業ノ方ハ今日ノ所職業ヲ與ヘル爲ノ計畫シカマダ實現スル域ニ達シテ居リマセヌ、詰リ失業救済事業トシテ、土木事業若シハ開墾干拓ノ仕事ヲ行フコトハ、既ニ政府ニ於テ計畫シ、豫算化サレツ、アル所デアリマスカラ、是ハ直ダハツキリト數ヲ擧ムコトガ出來ルノデアリマス、併シナガラソレ以外ノ方法、例ヘバ失業保險ヲ行フトカ、或ハ失業手当ヲ出ストカト云フ問題ハ未定デアリマスガ、現在ノ所デハ寧ロ斯様な方法ニ訴ヘナイ考デ居リマス、併シナガラ職ニアブレテ衣食ニ窮スル者ヲ其ノ儘ニ捨テ置ク譯ニ參リマセヌノデ、其ノ措置トシテハ昨日ノ閣議決定致シマシテ直チニ發表致シマシタモノガ今朝ノ新聞ニ出テ居リマス、生活ニ困難スル者ニ對スル保護、就中戰災者、軍人ノ遺族、寡婦、海外同胞ノ引揚メタル者、サウ云フ者ニ對シテ救護ノ手ヲ伸ベテ、直チニ全國ノ市町村長、部落會長、方面委員等ヲ其ノ保護ノ第一線ニ立タシメル方針ヲ決定致シマシテ、昨日發表致シタ譯デアリマ

ス、但シソレガ爲ニ幾許ノ金ヲ必要トスルカト云フ點ハ豫メ豫定スルコトガ非常ニ困難デ、御承知ノ通りニ戰災者ノ中ノ衣食ニ窮スル者、又一般生活ニ困難シテ居ル者ノ數ヲ最近ニ於テ調査シタ數字ガアリマセヌ、是ハ方面委員若シハ部落會長等ノ活動ニ俟ツテ、本當ニ間違ノナイ數字ヲ直チニ調査シテ、之ニ對應スル爲ニ、主トシテ物資ヲヤルト云フコトデアリマス、金ヲヤルコトヨリモ寧ロ物資ヲ手ニ入ラナイノデアルカラ物資ヲヤラウ、小サナ例ヲ申セバ、戰災地デ麥ヲ蒔キタイ、野菜ヲ作りタイト思ツテモ種ガナイト云フヤウナ立場ニ居ル者ニハ、サウ云フ物資ヲ給與シテヤル、斯ウ云フ案ヲ立テタ譯デアリマス

○委員長(河原田修吉君) 政治的、宗教的、經濟的差別待遇ハナイト云フコトハ能クアチラニ了解サセルヤウニ話シテアリマス

○國務大臣(青田均君) 或ハ其ノ點ガ分ツテ居ルト思ヒナガラ分ラナイ點ガアツタカト思ヒマスガ、尙今後モ引續キサウ云フ點ハ十分ハツキリ理解サセラルヤウニ努メル積リデアリマス、此ノ機會ニ一言申上、ゲテ置キタイコトガアリマス、法案ノ第一條第二項及ビ第十二條ニ關聯シタ問題デアリマス、第一條第二項及ビ第十二條ハ正當ナル行爲ト云フ文字ヲ使ツテ居リマスガ、正當ナル行爲ト云フノハ違法性ガナイト云フニ過ギナイノデアリマス、純ニ法律的中セバ、全ク念ノ爲ノ規定デアリマシテ、之ニ依ツテ組織ナキ労働者ニ付テ反對ノ解釋ヲ下スト云フ意味デハアリマセヌ、斯様ナ規定ヲ設ケマシタ趣意ハ、一方ニ於テ關係者ニ安心ヲ與ヘルト云フコトト、又他面カラ申

セバ、斯様ナ行爲ハ總テ違法ト解釋シヨウトスル者ニ對シテ啓蒙的ナ意味ヲ持タセヨウト云フ趣意ニ基クモノデアリマス、此ノ二箇條ニ定メテ居ルヤウナ規定ヲ爭議調停法ニ一般の規定トシテ設ケテハドウカト云フ御意見ハ極メテ御尤モナ點ガアルト考ヘマス、ケレドモ、今後組合ノ結成ハ相當迅速ニ進展スル情勢ニアリマスカラ、寧ロ是等ノ規定ヲ組合法ニ規定スル方ガ適當デアル、斯様ニ考ヘテ本案ニ挿入致シマシタ譯デアリマス

○子爵齋藤實君 十三條ニ關聯シマシテ、外國ノ例ヲ伺ヒタイト存ジマス、例ヘバ政治資金ニ對シ共濟事業其ノ他ノ爲ニ離出シタ金ヲ利用スルト云フヤウナ例ハアリマスカ

○政府委員(高橋庸彌君) 十三條ノ關係、特ニ政治資金ノ關係、於ケル立法例ノコトデアリマスガ、第一「イギリス」ノ方ニ於キマシテハ、色々ノ糾餘曲折ヲ經マシテ政治資金ノ利用ノ問題ガ發展シテ來タ譯デスガ、現在ニ於キマシテハ、政治關係ノ金ハ政治資金ノミカラ之ヲ使ツテ、他カラ流用シテハナラナイト云フノガ現行法ト承知シテ居リマス、「アメリカ」ニ於キマシテハ何等ノ規定ハゴザイマセヌガ、實際問題ト致シマシテ、選舉等ノアル場合ニ、選舉ノ爲ニ組合員ガ特ニ金ヲ出シ合ツテ組合員ノ中カラ立候補スル爲ノ文書其ノ他ノ運動費ヲ徵集スルト云フコトガ實際ニ行ハレテ居ルヤウニ承知シテ居リマス

○子爵齋藤實君 「イギリス」ニ於キマスルサウ云フヤウナ規定ヲ設ケルニ至リマシタ沿革ニ付テ御話シ願ヘバ有難イト思ヒマス

○政府委員(高橋庸彌君) 御承知ノヤ

ウニ、千九百九十九年ノ末ニ「オスボン」事件ト云フノガアリマシテ、組合基金ヲ政治運動ニ使フタノガ違法ト判決サレタ譯デスガ、其ノ結果トシテ組合ガ非常ナ窮乏ニ陥ツタ譯デアリマス、ソコデ其ノ反動ト致シマシテ、斯ウ云フ傾向ハ正スル意味ニ於キマシテ、政治資金カラノミ使フテ、他ノ基金ヲ此方ニ使フテハナラナイト云フヤウナ現行法ガ招來サレタト云フ沿革ガ、主ナル歴史ノ沿革デアルト存ジテ居リマス

○子爵齋藤實君 諄イヤウデアリマスガ、今日午前中モ申上ゲマシタ通り、年金給付ヲ持ツテ居リマスル既設ノ共済組合ニ於キマシテハ非常ニ大キイ資金ヲ持ツテ居ルノデアリマス、年金事業ニ對スル基金ト云フモノハ、恐ラク數百萬圓ト云フヤウナモノモアリ得ルカト存ジマス、サウ云フヤウナモノガドソノ政治運動ニ流用サレテハイケナイデヤナイカト云フ風ニ考ヘマスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○國務大臣(曾田均君) 齋藤子爵ノ御意見全ク御同感デアリマス、今朝御意見ヲ伺ヒマシテ、關係ノ大臣トムレ等ノ點ニ付テ重ネテ打合せヲ致シテ置キマシタカ、御懸念ノ如キ事件ノ起ラナイヤウニ精々配慮致ス積リデアリマス

○男爵八代五郎達君 先程大臣ノ御説明ノアリマシタ第十二條「正當ナル」ト云フ意味ガ、啓蒙的ナ意味ガ含マルテ居ルト云フ御話デゴザイマシタガ、此ノ正當、不正當ト云フノハドウ云フ風ナ基準ニ依ツテ決メルモノデアリカト云フコトヲ、何カノ方法デ明示シテ置カナケレバ甚タ危險デヤナイカト云フヤウナ感ジモスルノデゴザイマスガ、何處デソレヲナサル御豫定ナノデゴザイマセウカ

○國務大臣(曾田均君) 啓蒙的ト申シマシタ意味ハ、條文全體ガ啓蒙的ナ意味デ掲ゲラレテ居ルト云フ意味デアリマス、「正當ナル」ト云フ文字ニ付テ、特ニ啓蒙的デアルトカ云フ意味ヲ持ツテ居ルト申上ゲタルノデハナカッタノデアリマシテ、正當ナル行爲ト云フノハ違法性ノナイ行爲ト云フ意味デアリマス、此ノ文字ハ刑法ニモ矢張り使フテ居リマス、其ノ他各種ノ法律ニ、矢張り正當ナル行爲ト云フノハ始終違法性ノナイ行爲ト云フ場合ニ使フテ居ルヤウニ解釋シテ居リマス

○男爵八代五郎達君 大體分リマシタガ、此ノ正當、不正當或ハ違法性、適法性ト云フ意味ガ、簡單ニ事象其ノモノカト云フ風ナ條文、法令ニ依ツテ判斷スルコトノ出來ル場合ガ澤山アルト思ヒマス、例ヘバ同盟罷業ノ結果、使用者ト労働者ガ相互ニ損害ヲ受ケテ場合ハ、當事者同士デスカラハツキリスルト思ヒマスガ、第三者ガ蒙ル損失ト云フモノハ非常ニ澤山アル、例ヘバ電力ノ供給ヲ受ケテ居ル仕事デ、同盟罷業ノ爲ニ、電力ガ停ツタ、其ノ時其ノ仕事全體ガ停止シテシマフ、此ノ損害ナドハ相當莫大ナモノニナル處ガアルノデアリマス、サウスルト、其ノ結果カラ言ツテ、此ノ爭議行爲ノ適法、不適法ト云フモノモ判斷ガ曲セラレルト云フヤウナコトガ起ツテ來ハシナイカト思ハレル、サウ云フコトニ付テノ何カノ決定ヲスルヤウナ方法ヲ講ジテ置カナケレバナラヌノデヤナイカト云フ氣ガスルノデアリマス、何モ此ノ組合法ニサウ云フ明文ヲ設ケル必要ガアルト申スノデヤアリマセヌ、別ノ方法デ御示ニナツテ置イタ方ガ、使用

者ノ方モ労働者ノ方モ安心ガ行クノデヤナイカト思ヒマス

○國務大臣(曾田均君) サウ云フヤウニウマク全部ヲ正當ナルモノ、正當ナラザルモノト書キ分ケルヤウナ言葉ガアレバ都合ノ好イコトダト思ヒマスガ、矢張り法律ヲ讀ム人ノ方面デハ、社會常識デ之ヲ判斷シテ貰フテ争ヒノアツタ時ニハ裁判所カ之ヲ裁ク、斯ウ云フ所ヲ狙ツテ満足シテ居ル譯デアリマスガ、併シナガラ罷業行爲ト云フモノガ何處迄正當カト云フ點ニ付テハ、無論御説ノ通り曖昧ナ問題ガ起リ得ルト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、例ヘバ見張り、立番、ピケツティング」ナトガ爭議行爲トシテ正當デアルカドウカト云フ風ナ疑ヲ將來殘サナイ爲ニ、特ニ議場ニ於テ、「ピケツティング」此ノ法律制定ノ際ニハ正當ナル爭議行爲ト認メルト云フコトヲ聲明シテ居ル譯デアリマシテ、出來ル限り、サウ云フ風ニ曖昧ナ點ヲ除キタイト考ヘテ居リマスガ、併シ結局ハ裁判所ノ判斷ハ最終的ナノデアリマスカラ、立法ノ趣意ガ斯ウデアツタト申シマシテモ、或ハ裁判所ノ最後ノ判定カ立法者ノ意思ニ拘ラズ違フヤウナ場合モ起リ得ルト思ヒマスガ、差當リノ所、此ノ程度デ満足スル外ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○伯爵橋本實斐君 勞働條件ノ中ノ最重要ナ問題ノ一ツノ勞働時間ニ付テハ「アメリカ」ニ於テハ八時間制ヲ採ツテ居リマス、ソレカラ歐洲大陸ノ方モ矢張り八時間制ガ行ハレテ居リマスガ、我が國ニ於テハ必ズシモ八時間制デナク、十時間ノ所モアル、戰時中ハ十二時間働イタ所モアツタ、大體今後ノ趨

勢ハドウ云フ風ニ參ル傾向ノヤウニ御見透シデゴザイマスガ、又厚生省トシテ勞働時間ハ何時間位ガ適當デアルト云フ御見解ヲ御持チデアリマスカ

○國務大臣(曾田均君) 只今ノ就業時間ハドウ位ガ適當カト云フ御質問デアリマス、御承知ノ通り我が國ノ工場法ニ於キマシテハ、第一次世界大戰後ノ趨勢ニ鑑ミマシテ、出來ルだけ長時間勞働ヲ避ケヨウト云フ方針デ出來タノデアリマスガ、ソレデモ經濟機構、社會情勢ノ歐美諸國ト多少異ル點カアルコトニ鑑ミテ、歐美諸國ヨリモ長時間勞働ヲ規定シテ居ツタ譯デアリマス、今後ノ失業問題ト關聯シテ、就業時間數ハ相當重要ナ問題ニナツテ來ルト思ヒマスガ、若シ失業率ヲ救ハウトスルナラバ、就業時間ヲ短カクシテ、短時間高給率、出來ルナラバ、高賃金ト云フ方針デ行クコトガ理想デアルト思フノデアリマスケレドモ、其ノ中心ハ矢張り能率ノ問題デアリマシテ、短時間デアレバアル程高給率デアルコトヲ必要トスルヤウニ思フノデアリマス、現在ノ趨勢カラ言ヘバ、能率ノ點ガ最も問題ニナツテ居リマス、ソコデ現在ノ失業問題ガ果シテドウ程度ニ就職者ヲ出スカト云フコトデアリマス、現状カラ申シマス、人ヲ求メテ居ルモノノ數ガ多クテ、職ヲ求メル數ガ少イ、誠ニ不思議ナ現象デアリマスケレドモ、併シ遠カラズ職ヲ求メルモノノ數ガ人ヲ求メルヨリ多クナルト見デ居リマス、サウ云フ場合ニハ矢張り思ヒ切ツタ短時間勞働ヲ採用スルコトガ起ルカモ知レマセヌ、現在ノ所ハ略ハ戰爭前ノ工場法デ規定シタ程度ノ就業時間デ、當分ヤツテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○伯爵橋本實斐君 只今ノ御説明ニ依ツテ了解致シマシタ、私モ企業ノ種類等ニ依ツテモ就業時間ノ特徵ガ自ラ出ルト思ヒマスガ、只今ノ御説ノヤウニハ、成ルべく多クノ人ニ勞働ノ機會ヲ與ヘル爲ニ、ドウシテモ一人當リノ就業時間ハ短クセザルヲ得ナイ、又今厚生大臣カラ御話ノヤウニ、能率カラ申シマス、短時間ニ精力ヲ集中シタ方ガ宜イカト考ヘルノデアリマス、サウナツテ參リマス、從來ノ就業時間ヨリ幾分短縮サレル傾向ニアルドラウト思フノデアリマス、尤モ能率的ニ申シマシテ、三交代ニシテ八時間短ヤルノガ宜イカモ知レマセヌガ、又夜間ト晝間ト各々制限時間ガ違ツテ來ルト思ヒマスガ、自然傾向ハサウ云フ風ニナリノデヤナイカト、私モ竊ニ考ヘテ居リマス、チヨツト御意見ヲ申添ヘテ置キマス

○委員長(河原田稼吉君) モウ御質問ハゴザイマセデスカ

○瀧川儀作君 私人質問申上ゲムトスルコトハ大分各方面カラ出マシタノデ、簡單ニ質問申上ゲタイト思フノデアリマス、勞働組合法ヲ制定シテ勞働者ヲ保護スルコトニハ何等異議ハアリマセヌガ、現状カラ見マス、少シ進ミ過ギタヤウナ感ジモアルノデアリマス、是デ此ノ運用如何ニ依リマシテ、先刻モドナカラカ御意見ガアリマシタガ、勞働爭議ヲ激發スル虞ハナイト限ラナイノデアリマス、一般ノ批判カラ見マスルト、事業家ナリ資本主ガ勞働者ノ非常ナ低賃銀ヲ利用シテ搾取シツツアルヤウニ考ヘラレマスガ、ソレデハ殆ト今日ノヤウニ事業ガ發達スル譯デナイ、相當事業家ニ於テ注意ヲ拂ツ

テ居ルヤウニ考ヘラレノデアリマス、殊ニ今日ノ場合ハ殆ド事業界ヲ見マス、破産ノ状態ニアリマス、之ヲ復興セシムルニハナカ／＼容易ナ事業デナイト信ズルデアリマスガ、勞資間ノ色々ナ争議ガ續續サレハヤウナコトガアリマシテハ由々シキ大事デアルト思フデアリマス、此ノ運用ニ付テ政府當局ニ伺ヒタイノデアリマスガ、在來、戰爭中ニモ生産擴充ガ十分ニ行カナイデ、運用問題ガ各方面カラ出タノデアリマスガ、ソコガウマク行ツテ居ナイ、寧ロ敗戦ノ原因ノ主ナルモノデナイトカ思フ位下手ニ行ツテ居ルデアリマス、我が國ノ爲政者、爲政者ト云フト何デスカ、批判ヲ申上ゲテ相濟ミセズケレドモ、併シ官吏ハ公平デアリマス、清廉デモアリマス、行政の事務ニハ非常ニ精通シテ居ラレマスガ、經濟界ノ問題ニハ餘リニ疎イ、實情ヲ能ク御存ジナイ方ガ多イ爲ニ、兎角運用ノ誤ツテ、當業者ノ専門ノ經驗ヲ利用スルコトガ出來テ居ナイノデヤナイカト思ヒマスガ、ソコデ私ハ簡單ニ申上ゲレバ、課長トカ局長ト云フエライ御方ニナルト、サウ云フ風ニセラレナイヤウニ、寧ロ労働組合ナリ又事業家ニ就テ見習ヒデモ靜カニナサツテカラ、其ノ地位ヲ與ヘル位ニナサツテ、實情ガ分ツテ運用ガウマク行クノデヤナイカト、斯ウ云フ風ニ考ヘラレノデアリマス、厚生大臣ハ此ノ方面ノ事情ニハ精通シテ居ラレテ、釋迦ニ説法デアリマスガ、日常事務のニ仕事ヲヤツテ居ラレル局長方面ニ於テハ、サウ云フコトヲ見習ヒスル、研究スル機會ガナイノデ御無理モナイノデアリマスカ、ソコニ缺點ガアルノデヤナイカト思ヒマス、見習ヒスルト云フト俗ノ

言葉デアリマスガ、モウ少シ實情ヲ、責任アル地位ノ御方ニ於テハ調査スル、勉強ヲシツカリナサル、チヨット三日カ五日旅行シテ位デ、専門家ノ意見ヲ聴イタリシタノデハ、進モ駄目デヤナイカト思ヒマス、其ノ點ニ付テハ細心ノ注意ヲ拂ハレテナサレナケレバ、此ノ復興ハ困難デハナイカト考ヘラレノデアリマス、私ハ最近第一様ニ立ツテ居リマセマスガ、多數ノ労働者ト接觸シタ者デ、寧ロ労働者ノ味方デアリノデスカ、役所ニ向ツテハサウ云フ風ナ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレナ風ナコトガ出來ルカ否カ、疑問デアリマスケレドモ、ソコ迄行カナケレバ、運用ガウマク行カヌノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカ、私共ノ皆ノ希望スルヤウナコトガ果シテ行ヘルカドウカ、ソレナコトヲ伺ツテ見タイノデアリマス

○國務大臣(青田均君) 瀧川サンノ御意見デ、役所ニ座ツテ居ル者ハ民間ノ事情ニ疎イ、實情ガ分ラナイ體ガアルト云フ點ハ全く其ノ通りニ存ジマス、之ヲドウシテ是正スルカト云フ方法ニ付キマシテハ、私モ多少考ヘテ見タコトモアリマスガ、要スルニ上ニ立ツテ責任ヲ持ツ者ガ思ヒ切ツテ實情ヲ調査スルヤウニ指導スル心懸ケガ大事デアリマス、又其ノ方針ニ基イテ熱意ヲ以テ努メテ社會ノ實情ヲ知ラウトスル心懸ケガ大事デアルト思ヒマス、其ノ二ツノ調子ガ揃ヒサヘスレバ、今日ノ弊害ハ或程度除ケルト思フノデアリマスカ、此ノ運用ニ付キマシテモ、サウ云フ方針ニ則ツテ、出來ルダケ實情ニ即シテ世間ノ期待ニ副ヒタイト、斯様ニ心懸ケテ居リマス

○大野綠一郎君 先程第一條第二條ニ

付テ「正當ナ」ト云フ言葉ノ解釋ニ付テ大臣ノ御説明ハ能ク了承シマシタ、ソコデ私ハ念ノ爲メニ置キタイと思ヒマス、第一條ノ第二項ニ於テ、此ノ讀ミ方デスカ、昨日委員長ノ質問ニ對スル厚生大臣ノ御答デ、此ノ三十五條ノ規定ハ労働組合ヲ組織シテ居ルモノハ勿論ノ話デアルガ、未組織ノ労働者ニモ適用ガアル、斯ウ云フ風ナ御説明デアリマス、其ノ趣旨モ私ハ能ク了承シマシマスガ、此ノ法文ヲ讀ミシデ、サウ云フ字義通りノ解釋デサウ云フコトガハツキリ致シマス、或ハ此ノ法文ニ潛シテ、サウ云フ趣旨ニ解釋スルコトニナリマス、ソコノ點ガ少シ明瞭ヲ缺イテ居ルヤウニ思ヒマス、此ノ字句デケラ見マス「労働組合ノ團體交渉ニ他ノ行爲ニシテ」トアリ、從ツテ労働組合ノ團體交渉ニ他ノ行爲ニ付テハ、刑法第三十五條ノ適用ガアル、サウスルト組合ヲ組織シテ居ナイモノニ付テハ當然ナンドト云フ解釋モ出來ルシ、又裏面解釋シテ、組合ヲ組織シテ居ラナイモノニ付テハ適用ガアルナイト云フ解釋モ起リ得ル餘地ガ起ルノデハナイカ、字句ノ解釋ノ問題デスカ、其ノ點モウ少シ明瞭ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(青田均君) 大野君ノ御質問ハ根據ノアル御質問ダと思ヒマス、併シ極ク普通ノ條理カラ言ヒマス、労働組合ノ爲メ團體交渉ヲハ「ビケツテイナング」サウ云フ行爲ハ正當ナル爭議行爲トシテ刑法ノ適用ハナイ、斯ウ決メテアルノデアリマス、労働組合ニ入ラナイモノガ「ビケツテイナング」ヲナシテ罷業ヲナシタ、ソレヲ正當ナル爭議行爲ト認メナイト云フ根據ハ實ハ何處ニモナイ譯デアリマス、ソコデ條

理カラ言ヘバ労働組合ノ組合員ガ爲シタル正當ナ行爲デアツテモ、或ハ労働組合ヲ組織シテ居ラナイモノノ罷業行爲デモ、同じニ取扱フベキモノダ、但シ此ノ二項ニ規定シテ居ルコトガ全部未組織ノ労働者ニ適用ガアルカドウカト云フ問題ニ對シテハ、矢張り此ノ第二項ノ趣意全部ガ未組織労働者ニ適用ガアル、其ノ根據ハ普通ノ條理デ左様ニ解シテ居ルノデアリマス

○大野綠一郎君 サウスルト矢張り此ノ字義ノ解釋ハ別トシテ、サウ云フ條理ガ存在シテ居ル、潛在シテ居ルト云フ御解釋デ、未組織労働者ニモ適用ガアル、斯ウ云フ御趣旨ニ解釋シテ宜イデスカ

○國務大臣(青田均君) 御意見ノ通りデアリマス

○男爵肝付兼英君 季節労働者ト云フヤウナモノハ現在日本ニドノ位居ルデセウカ、數ヲチヨット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(高橋廣彌君) 失禮デゴザイマスガ、チヨットサウ云フ調ヘゴザイマセ

○男爵肝付兼英君 實ハ季節労働者ノ數ニ依ツテハ相當厄介ナ問題ガ起ルノデハナカラウカト云フコトヲ心配シテ居ルノデアリマス、季節労働者ノ大部分ガ矢張り農村カラ主トシテ來ルダラウト思ヒマス

○政府委員(高橋廣彌君) 例ヘバ冬農村ノ四ナ時ニ、關西ノ方ノ酒屋ニ季節シテ行ク、斯ウ云フヤウナ労働者ノ關係ノ御質問ダト存ジマスガ、其ノ場合ニ、冬ノ二箇月ノ間デケマア工場、事業場ニ於ケル労働者ガ其ノ場合ニ労働組合ガ結成出來ルカ、斯ウ云フ御尋ノ御趣旨カト思ヒマスサウ云フ場合ニ

於キマシテモ、本法ノ適用ガアツテ、労働組合ヲ結成シテ労働條件ノ向上等ニ資スルト云フコトハ望マシイコトデアリ、本法上何等支障ノナイコト存ジマス

○男爵肝付兼英君 其ノ季節労働者ト云フモノハドノ位アル御見込デアリマスカ

○政府委員(高橋廣彌君) 遺憾ナガラチヨット即答致シ兼ねル状態デアリマス

○男爵肝付兼英君 今回労働組合ガ結成サレテ、季節労働者ガ此ノ労働組合「メンバー」ナルト同時ニ、是等ガ農村等ニ入ツタ場合ニ、是ガ又農業團體法ノ方カラ其ノ農民組合ナシカニ又加入スルト云フコトニナルト、二重人格ガ出來ル譯デアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ、是等ノ適用ノ範圍ト云フモノニ付テ、將來ノ統計ノ上ニ、一面ニハ労働者トシテ數ノ上ニ上ツテ來ルト同時ニ、又農民組合ノ方ノ農家トシテ、又之ノ數ガ上ツテ來ルト云フコトニナルト、統計上カラモ非常ニ複雑ナモノニナルト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ付テハツキリシタ「デフイニツション」ヲ與ヘテ置イテ載クト云フコトモ私ハ必要デヤナイカト考ヘタノデ、此ノ點ヲ御伺ヒシタ譯デアリマス

○國務大臣(青田均君) 實際ノ問題トシテハ、季節労働者ガ家ニ歸ツタ時ニ、農民組合、小作人組合ニ參加スル、一面ニハ労働組合ノ組合員デアリ、小作組合ノ組合員ダト云フコトハ是ハ寧ロ當然ノコトデアツテ、之ヲ拒ム必要モナシ、又拒ミ得ナイコトダト考ヘルノデアリマシテ、重複シテモ致シ方ナイト思ヒマス、又統計シテモ間違ツテ居ルトハ言ヘナイト思ヒマス、農民組合ノ方ノ組合員ガ何人アツ

テ、勞働組合ノ會員ガ何人アルト云ツ  
タトコロガ、是ハ間違ツタ統計デハナ  
イノデアルテ、唯人口統計ト較ベ合セ  
テ數ガ合ハナイト云フ問題ハ起ツテ來  
マスガ、重ナルコトハチツトモ差支ナ  
イヤウニ考ヘテ居リマス

○男爵肝付兼英君 勿論統計の二見レ  
バ別々ナ意味トシテ取レルノデアリマ  
スガ、矢張り勞働問題等ヲ色々ナ角度  
カラ見ル時ニ、其ノ勞働者ノ數ガ相當  
多カッタ場合ニハ、色々ナ點ニ支障ヲ  
生ズル問題モ起ルト思ヒマス、又或ル  
一事業場ナリ、或ル地域ニ付テ其ノ四  
分ノ三以上ガ或ル勞働條件ニ服スル  
申シマス、或ハ勞働條件ヲ提示シタ  
場合ニ、其ノ四分ノ三以下ニ當ル者ガ  
此ノ季節勞働者デアッタヤウナ場合ニ  
ハ、季節勞働者ニハ當嵌メ得ナイ、而  
モ季節勞働者ニハ其ノ必要ガナイト云  
フヤウナ問題ニ對シテモ強制的ニ之ヲ  
行ハセルト申シマス、權利ガ付イテ  
シマフト云フヤウナ不合理ナコトガ出  
テ來ルコトモ起ルデヤナイカト云フ風  
ニ想像サレルノデアリマスガ、其ノ邊  
ノ心配ハアリマセヌカ

○國務大臣(吉田均君) ソコ迄實ハ詳  
シク考ヘテ居リマセヌガ、御意見  
ニ依ツテ精々一ツ其ノ點ヲ考慮致シマ  
ス

○委員長(河原田稼吉君) 他ニ……  
○秋田三一君 從來ノ勞働爭議ヲ見マ  
スト、第三者ガ之ニ立入ツテ相當指導  
ヲ致シマス同時ニ、煽動シテ居ルヤ  
ウナ傾向ガアルノデアリマス、是ハ階  
級闘争ヲ益々激化スル處ガアリマシ  
テ、寧ロサウシタコトハ除イタ方ガ健  
全ナ組合ノ發達ニ宜イノデヤナイカト  
云フ氣持モ致スノデアリマス、無論良  
イ指導者モアルノデアリマスガ、從來

ノ例カラ見マスト云フト、惡イ方ガ多  
イノデヤナイカト云フ感ジモ持ツノデ  
アリマス、此ノ十條デアリマス、十  
條ニ「勞働組合ノ委任ヲ受ケタル者」  
トシテアリマシテ、是ガ勞働協約ノ締  
結其ノ他ノ事項ニ關シテ交渉スル權限  
ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ  
「委任ヲ受ケタル者」ト云フコトハ除  
キマシテ、勞働組合ノ代表者ダケニシ  
タ方ガ宜イノデヤナイカト思フノデス  
ガ、此ノ點ノ御所見ヲ伺ヒマス

○政府委員(高橋庸彌君) 所謂惡勞働  
「ブローカー」ノ爭議「ブローカー」ト云  
フヤウナ者ノ排除ノ御希望ノ御尋ト思  
ヒマス、惡「ブローカー」ガアリマス他  
ノ一面ニハ、勞働者デハナイガ非常ニ  
勞働事情ニ精通シテ居リ、適正ナ勞働  
運動ノ指導者モ亦アル譯ナデアリマ  
ス、恐ラク勞働運動ガ適正ニ發達シテ  
參リマスナラバ、前段申上ゲマシタヤ  
ウナ惡「ブローカー」ハ一段々排除サレテ  
淘汰サレテ行クドラウト思ヒマス、後  
者ノ方ガ段々榮エテ行クト云フ結果ニ  
相成ルドラウト思ヒマス、又サレナル  
コトヲ期待シテ居リマス、ソコデ第十  
條ノ「勞働組合ノ委任ヲ受ケタル者」  
ト云フモノヲ削除シタ方ガ、只今申シ  
マシタヤウナ趣旨ヲ助長スルコトニナ  
ツテ宜イデヤアルマイカト云フ御意見  
ノヤウデアリマスルガ、單ニ勞働組合  
ノ代表者、斯ウ云フ風ニシテ置キマシ  
テモ、勞働組合ニハ勞働者ノミナラシ  
勞働運動ノ善惡共ノ指導者モ入ル譯デ  
アリマス、ソレガ代表者ニナツタ場合  
ニハ、矢張り御尋ノヤウナ心配ハアリ  
得ル譯デアリマス、他ノ一面又勞働組  
合、特ニ小サイ中以下ノ勞働組合ニナ  
リマス、法律問題其ノ他勞働關係ノ  
コトニ付テ餘リ詳シクナク、又指導者

トシテナカノ有能者ガナイト云フヤ  
ウナコトガアリ得ルト思ヒマス、サウ  
云フ場合ニハ「勞働組合ノ委任ヲ受ケ  
タル者」ト云フコトヲ存置スルコトニ  
依リマシテ、法律問題デアリマスナラ  
バ辯護士、ソレカラ或特殊ノ知識經驗  
ヲ要スル問題デアリマスレバ、サウ云  
フ人ヲ委任シマシテ、サウシテ使用者  
側ト交渉スルコト云フ方ガ寧ロ勞働組合  
ヲ助長促進スルコト云フコトニ相成ル  
思ヒマシテ此ノ「又ハ」以下ヲ入レタ  
デアリマス

○秋田三一君 今御話ノ惡勞働「ブ  
ローカー」ノ跋扈ヲ抑ヘルヤウナ方法  
ニ付テ、別ニ御考ヘアリマセヌカ  
○政府委員(高橋庸彌君) 本法ハ勞働  
組合運動ヲ助成促進スル趣旨ニ於テ立  
案致シマシタモノデゴザイマス、而シ  
テ御尋ノ惡「ブローカー」排除ノ取締規  
定ト云フ風ナモノハ本法ニ規定セズ、  
寧ロ勞働界ノ自然ノ淘汰ト申シマス  
カ、自然ノ發達ノ間ニ一段々排除サレテ  
行クト云フコトヲ期待シマシテ、取締  
規定ハ置カナク次第デアリマス  
○秋田三一君 實際ノ面ニ於テ、果シ  
テ今御話ノ如キ惡「ブローカー」ガ段々  
ニ引込ムヤウナコトニナレバ大變結構  
ナンデアリマスガ、色々ノ手ヲ以テ勞  
働者ノ歡心ヲ買ツテ行キマスカラシ  
テ、又現在ノ多クノ勞働者ノ知識程度  
カラ致シマスト云フト、マダノ「サウ  
シタ惡「ブローカー」ノ跋扈スル傾ガ段  
段延ビテ行ク餘地ガ多分ニアルト思フ  
ノデアリマス、是非ハ何等カノ方法  
デ抑ヘテ戴キタイト私ハ思フノデアリ  
マス

○政府委員(高橋庸彌君) 一言附加ヘ  
テ申上ゲテ置キマス、御尋ノヤウナ懸  
念ノアルコトハ、私モ一部全ク御同感  
デゴザイマス、サレバト云ツテ取締規  
定ヲ置クト云フノハドウカト思ヒマシ  
テ置カナク次第デアリマス、尙勞  
働委員會ト云フモノノ規定ヲ相當詳シ  
ク置キマシテ、サウシテ勞働委員會ノ  
運営ニ色々ノ點デ多大ノ期待ヲ掛ケテ  
居ル譯デアリマス、而シテ御尋ノヤウ  
ナ惡「ブローカー」ノ排除ト云フヤウナ  
コトニ付キマシテモ、此ノ勞働委員會  
ノ活用ヲ俟ツテ相當此ノ目的ヲ達シタ  
イト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ト申シ  
マスノハ、勞働爭議ノ豫防カラ發シタ  
場合ニ於ケル所ノ調停、仲裁迄ヤツテ  
居リマスノデ、寧ロ此ノ間ニ於テ勞働  
委員會ガ適正ニ嚴格ニ動クナラバ、自  
ラト惡「ブローカー」ハ排除サレテ行ク  
ヤウナ結果ニナルノデアアルマイカト  
思ヒマス

○秋田三一君 十五條ニ「裁判所ハ勞  
働組合ノ解散ヲ爲スコトヲ得」ト云フ  
コトニナツテ居リマスガ、解散命令權  
ヲ裁判所ニ與ヘテ居リマスノハ、是ハ  
ドウ云フ理由デアリマスカ  
○政府委員(高橋庸彌君) 昭和六年ニ  
提案セラレマシタ組合法ニハ、裁判所  
ノ代リニ内務大臣トナツテ居リマス、  
ソレニ變ツテ居ル點ガアリマスノデ、  
非常ナ自然ナ御質問ト存ジマス、御承  
知ノヤウニ聯合軍司令部ノ指令ニ依リ  
マシテ、治安警察法ガ廢止致サレマシ  
タ、從ヒマシテ我ガ日本ニ於キマシテ  
ハ、現在政治結社ハ勿論、總テノ結社  
ニ付キマシテ、解散ヲ命ジ得ルコト云フ  
コトハ何モモナイ譯デアリマスガ、唯  
一ツ、此ノ本法案ノ十五條ニ、勞働組  
合ニ對シテ解散ノ規定ガアル譯デアリ  
マス、從ヒマシテ例外ノ例外デゴザイ  
マスノデ、其ノ條件ハ相當嚴格デナケ  
レバ相成テヌト存ジマス、其ノ嚴格ナ

ル條件ノ一ツトシテ、行政官廳デナシ  
ニ裁判所ガ原被兩告ノ辯論ヲ聽イテ、  
サウシテ公正ナ所ニ從ツテ決スルト云  
フ風ナ、慎重ナ手續ヲ執ル必要ガアリ  
マスノデ、茲ニ裁判所ト致シタ次第  
デアリマス  
○秋田三一君 十八條ニ依リマスト法  
人タル勞働組合ニ免稅ノ恩典ヲ與ヘテ  
居リマスガ、是ハドウ云フ理由デアリ  
マスカ  
○政府委員(高橋庸彌君) 大體勞働組  
合ハ金ニ縁ノナイ組合デゴザイマス、  
其ノ程度ハ丁度産業組合ニ相當スル位  
ノモノデアルト、寧ロ考ヘ様ニ依ツテハ  
ソレ以下ノモノト存ジマス、ソコデ勞  
務法制審議會ノ答申ニ於キマシテモ、  
産業組合ニ準ズル免稅ノ規定ヲ置クベ  
キデアルト云フヤウナ答申ガアツタ譯  
デアリマス、其ノ答申ニ基キマシテ、  
政府ニ於キマシテモ之ヲ認メマシテ、  
此ノ所得稅及法人稅、附則ニ於キマス  
所ノ登錄稅ト云フヤウナモノノ免除ノ  
規定ヲ置キマシテ、産業組合ト同ジ程  
度ノ免稅ノ恩典ヲ與ヘタ譯デゴザイマ  
ス  
○秋田三一君 勞働委員會ノ委員ノ任  
期ハ、先程御話ニナツタカト思ヒマス  
ガ、チヨット聽キ漏ラシタカト思ヒマ  
スガ、ドウ云フ風ニナツテ居リマス  
カ  
○政府委員(高橋庸彌君) 別ニ任期ハ  
置キマセヌデ、一應任期ナシデゴザイ  
マスガ、産業勞働事情ノ變化又ハ其ノ  
他ノ變化ニ依リマシテ、必要アル場合  
ニ於キマシテハ勞働組合、ソレカラ主  
腦者側ノ團體ノ意圖ヲ參酌シ、適當  
ノ時期ニ更新スル必要モアルノデハナ  
イカ、斯ウ云フヤウニ存ジテ居リマ  
ス

○秋田三一君 イマーツ労働委員會ノ件デゴザイマスガ、其ノ労働者ヲ代表スル者ヲ推薦スル場合ニ労働組合ノナイ地方ト云フモノハバドウ云フ風ニナルノデゴザイマスガ

○政府委員(高橋廣彌君) 御尤モナ御尋ト思ヒマス、例ヘバ關東地方ニ於キマシテ群馬縣ノ労働委員會ヲ拵ヘヤウト致シマシタ場合ニ、群馬縣ニ労働組合ガ全然ナイト云フヤウナ場合ハドウスルカト云フ御尋デアリマスガ、其ノ場合ニハ二ツ考ヘルコトガ出來マス、一ツハ關東一圓トスル労働組合或ハ労働組合聯合會ガアルト云フ風ナ場合ニ於キマシテハ、其ノ聯合會ノ推薦ニ基クト云フモノ一ツダト思ヒマス、ソレカラ組合ハナイガ組合ニ準ズベキモノガアルト云フ風ナ場合ニハ、其ノ意圖ヲ參酌シテ、前段申上ゲマシタルナ組合若シハ労働組合聯合會ト云フ風ナモノノ推薦ヲ通ジテアルト云フ風ニナルノデハナイカト思ヒマス

○秋田三一君 若シ其ノ推薦ノ定數ニ滿タヌ場合アルカモ分リマセヌガ、サウ云フ時ハ……

○政府委員(高橋廣彌君) 推薦ノ定數ト申シマスガ、推薦シタ人ガ七人ナラ七人ダケノ人間ガナイト云フコトデスカ

○秋田三一君 ハア

○政府委員(高橋廣彌君) 勅令ノ決メ方ヲ、地方デスト公式ニ五人以下ト、斯ウ云フ風ニシナイデ、色々ナ關係デ五人ガ不適當、五人迄ハナカノナイダラウト云フ風ナ場合ニハ、而モソレガ餘リ労働爭議其ノ他ハ豫想サレナイト云フ場合ニハ、規定ハ五人以下トシテ居リマスカラ、或ハ五人ヅ、ヲ要シナイデ三人ヅ、若シハ二人ヅ、ト

云フ風ニシテ行キタイト思ヒマス

○秋田三一君 私ノ質問ヲ終リマス

○委員長(河原田稼吉君) アナタノ御質問ニ關聯シテチヨット、サツキノ秋田君ノ労働委員會ノ労働者ヲ代表スル者ノ推薦ノ方法デアリマスガ、之ヲ見マスト労働組合ノ推薦ト云フコトニナツテ居ルノデ、労働者ト云フ者ハ代表スル權能ガナイ、代表サレル資格ガナイ、サウ云フヤウニハ考ヘラレマセヌカ、此ノ法案ハ、デスカラ例ヘバ群馬縣ニ全然労働組合ト云フモノガ出來ナカッタ場合ニ群馬縣ニハ労働者ヲ代表スル者ハナイ、斯ウ云フコトニナリハシマセヌカ、労働組合ノ推薦ダカラ、群馬縣ニ於ケル労働組合ハナイト云フ場合ニハ全然労働者ヲ代表スル労働委員會ト云フモノハ出來ナイ、サウ云フコトニナリマスネ、此ノ法文ヲスラ讀ムト……

○政府委員(高橋廣彌君) 群馬縣ノ場合デゴザイマスガ、矢張り労働組合ガナクテモ、其ノ群馬縣ノ労働者ニハ色ノ問題ガ起ルデアラウト思ヒマス、從ヒマシテ、ソレヲ色々解決シテ行クニハ矢張り労働委員會ト云フモノハ是非共必要ト思ツテ居リマス、而シテ關東一圓ヲ單位トシテ労働組合若シハ労働組合聯合會アルナラバ、其ノ組合若シハ組合聯合會ノ推薦ニ基クモノニ依ツテ群馬縣ニ労働委員會ヲ組成、組織致シマシテ、労働問題ヲ解決シテ行クト云フ風ナコトガ出來ルト思ヒマスノデ、群馬縣ニサウ云フ労働組合ガナクテモ是非一ツ労働委員會ヲ拵ヘテ行クノガ適當ダト思ヒマス

○子爵秋元春朝君 私モ先程伺ツテ居ッタノデスケレドモ、チヨット頭ニ入り損ネマシタノデ、モウ一度伺ヒタイ

ノデスカ、此ノ第一條ノ刑法第三十五條ノ規定ガ「正當ナルモノニ付適用アルモノトス」トアリマスガ、モウ一度チヨットハツキリ仰シヤツテ戴キタイノデスカ

○政府委員(高橋廣彌君) 例ヲ申上ゲマセウ、從來労働爭議ノ行為ハ取締ガ割合ニ峻嚴デアッタヤウニ思ヒマス、從ヒマシテ労働者ガ團體行為ヲ爲スベク數人社長ノ所ヘ行ツテ面會ヲ求メテ話ヲスル、斯ウ云フ風ナ場合ニ取締當局ハ警察犯處罰令ノ故ナク面會ヲ強要スルモノト云フノ引掛ケマシテ、之ヲ檢舉スルト云フ風ナコトガアツタノデスカ、處ガ本法ノ精神ヲ汲ンデ見マス、或ハ暴行脅迫ヲ以テ、社長ニ面會ヲ求メルト云フノハ、是ハ違法ダト思ヒマス、併シナガラ労働條件ノ向上ヲ期シテ、第一條ノ目的ニ副ツテ其ノ意味ニ於キマシテ社長ニ面會ヲ求メルト云フ風ナコトハ當然本法ノ正當ナル行為デアアル、斯ウ云フ風ニ認ママス、從ツテ警察犯處罰令ノ故ナク面會ヲ強要スルモノトシテ之ヲ處罰スルト云フ風ナコトハハシナイ、斯ウ云フ意味デゴザイマス

○子爵秋元春朝君 ドウモ有難ウゴザイマシタ

○委員長(河原田稼吉君) 外ニ御質疑ハゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌケレバ質問ヲ終リマシテ討論ニ入りタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

○委員長(河原田稼吉君) 御異議ガナケレバ討論ニ入りマス

○子爵梅園篤彦君 労働組合法ノ制定ハ大正ノ末期カラ昭和ニ掛ケマシテ度々問題トナツタノデアリマスガ、遂ニ其ノ實現ヲ見ルニ至ラナカッタノデア

リマス、然ルニ今同政府ノ大決斷ニ依リマシテ之ガ提案ヲ見マシタコトハ、眞ニ機宜ノ措置、適當ナ措置デアツテ、誠ニ慶賀ニ堪ヘナイ次第デアリマス、蓋シ之ニ依ツテ敗戦後止ニ崩潰ニ類シテ居リマスル所ノ我が國ノ産業ヲ回復シ、新日本ヲ建設スルコトニ對シ多大ノ貢獻ヲ爲スベキコトヲ信ツテ疑ハナインデアリマス、尙本法案ノ目標トスル所ハ労働者ノ團結權ト團體交渉權トヲ保護助成シテ以テ労働者ヲシテ其ノ地位ヲ向上セシメ、經濟ノ興隆ニ資セシムトスルニアルデアリマス、即チ産業ヲ資本家ノ獨裁カラ解放シ、労働者ヲシテ之ニ參加セシメ、而シテ産業ノ民主化ヲ圖ラムトスルノデアリマス、然ルニ我が國ノ産業界ハ今ヤ大財閥ノ解體ニ依リマシテ、資本家ノ指導力ガ減退弱シタノデアリマスカラシテ、労働者ノ協力ナクシテ工場ノ勞務管理ハ完遂スルコトガ出來ナイノミナズ、其ノ經營上ニ於キマシテモ、之ガ協力ヲ必要トスルニ至ツタノデアリマス、更ニ賠償物資並ニ主要食糧品等ノ輸入ニ對スル見返リ物資ノ生産ニハ是非トモ高能力生産ガ必要デアツテ、之ガ爲ニモ労働組合ノ健全ナル發達ヲ急務トスルノデアリマス、斯クノ如ク労働組合ノ設立ハ單ニ労働者ノ爲ノミナラズ國家の要請ニモ應ズルモノデアアルト確信致シマスルガ故ニ、衷心カラ本案ニ賛成ヲ致スノデアリマス、尙此ノ機會ニ希望ヲ申添ヘタイト存ジマス、ソレハ今後労働組合ノ重要性ニ鑑ミマシテ、最近ノ機會ニ於キマシテ労働省ヲ創設シ、之ガ新設ニ依ツテ高能力生産ノ向上發展ニ資シ萬全ヲ期シテ戴キタイト云フコトデアリマス

○男爵八代五郎造君 此ノ労働組合法

ハ今迄色々ノ紆餘曲折ノアツタ法案デアリマシテ、今同是ガ臨時議會ニ提案サレテ是ガ無事成立スルト云フコトヲ豫想シマシテ、衷心カラ喜ビヲ感ズルモノデアリマス、殊ニ先程伺ヒマシタ此ノ法律ノ執行サレルノハ明年ノ二月一日カラダト云フコトデアリマスルガ、世上デハ來年ノ二月頃ハ日本ノ國ノ一番危イ時期ダ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルモノガ相當ニアルヤウデアリマス、此ノ危イ時期ニ此ノ意義ノアル法律ガ實行ニ移サレルト云フコトハ、取りモ直サズ民主國日本トシテ新發足ヲスル上ニモ一ツノ驍ヲサレルヤウナ氣ガスルノデアリマス、願クハ政府當局ニ於テ此ノ法律ガ死物ニナラナイヤウニ、進ンデハ我が國ノ經濟界ノ發展ニ多大ノ貢獻ヲナスヤウニ、行政上ノ御努力ヲ希望シテ已マイモノデアリマス、此ノ希望ヲ添ヘマシテ本案ニ賛成スルモノデアリマス

○國務大臣(青田均君) 只今本委員會ノ討論ニ於テ梅園子爵並ニ八代男爵ヨリ御發表ニナリマシタ政府ノ對スル運用ノ萬全ヲ期スル爲ノ御希望ニ對シマシテハ、今後其ノ局ニ當ル者ト致シマシテ萬全ノ方策ヲ講ジ、全力ヲ擧ゲテ御期待ニ副フヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス

○委員長(河原田稼吉君) ソレデハ採決ヲ致シマス、本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○委員長(河原田稼吉君) 採決ヲ致シマス、本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○委員長(河原田稼吉君) 採決ヲ致シマス、本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○委員長(河原田稼吉君) 採決ヲ致シマス、本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

ハ今迄色々ノ紆餘曲折ノアツタ法案デアリマシテ、今同是ガ臨時議會ニ提案サレテ是ガ無事成立スルト云フコトヲ豫想シマシテ、衷心カラ喜ビヲ感ズルモノデアリマス、殊ニ先程伺ヒマシタ此ノ法律ノ執行サレルノハ明年ノ二月一日カラダト云フコトデアリマスルガ、世上デハ來年ノ二月頃ハ日本ノ國ノ一番危イ時期ダ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルモノガ相當ニアルヤウデアリマス、此ノ危イ時期ニ此ノ意義ノアル法律ガ實行ニ移サレルト云フコトハ、取りモ直サズ民主國日本トシテ新發足ヲスル上ニモ一ツノ驍ヲサレルヤウナ氣ガスルノデアリマス、願クハ政府當局ニ於テ此ノ法律ガ死物ニナラナイヤウニ、進ンデハ我が國ノ經濟界ノ發展ニ多大ノ貢獻ヲナスヤウニ、行政上ノ御努力ヲ希望シテ已マイモノデアリマス、此ノ希望ヲ添ヘマシテ本案ニ賛成スルモノデアリマス

○國務大臣(青田均君) 只今本委員會ノ討論ニ於テ梅園子爵並ニ八代男爵ヨリ御發表ニナリマシタ政府ノ對スル運用ノ萬全ヲ期スル爲ノ御希望ニ對シマシテハ、今後其ノ局ニ當ル者ト致シマシテ萬全ノ方策ヲ講ジ、全力ヲ擧ゲテ御期待ニ副フヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス

○委員長(河原田稼吉君) ソレデハ採決ヲ致シマス、本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○委員長(河原田稼吉君) 採決ヲ致シマス、本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○委員長(河原田稼吉君) 採決ヲ致シマス、本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○委員長(河原田稼吉君) 採決ヲ致シマス、本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○委員長(河原田稼吉君) 採決ヲ致シマス、本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○委員長(河原田稼吉君) 採決ヲ致シマス、本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

副委員長 男爵久保田敬一君  
委員

公爵岩倉 具榮君

侯爵中山 輔親君

伯爵橋本 實斐君

子爵立花 種忠君

子爵秋元 春朝君

子爵梅岡 篤齊君

子爵高木 正得君

子爵齋藤 齊君

吉田 茂君

大野綠一郎君

大橋 八郎君

男爵八代五郎造君

男爵肝付 兼英君

男爵西 西乙君

藤沼 庄平君

長岡隆一郎君

松本健次郎君

瀧川 儀作君

河西豐太郎君

奧 圭一郎君

秋田 三一君

國務大臣

厚生大臣 芦田 均君

政府委員

厚生省勞政局長 高橋 庸彌君

厚生省書記官 中西 實君

運輸省勸勞局長 富山 清憲君

昭和二十一年二月八日印刷

昭和二十一年二月九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局